

学 年

1

令和6年度

シラバス

令和6年度

# シラバス

SYLLABUS  
*for*  
STUDENTS



—  
第1学年

 日本歯科大学生命歯学部

日本歯科大学生命歯学部

番号		氏名	
----	--	----	--

令和6年度 第1学年  
シラバス Syllabus for students

本書の使い方	1
授業時間表	2
授業科目の履修時期と単位数	4
前学期授業科目	7
後学期授業科目	5 3



# 本書の使い方

本書は、学生諸君が履修すべき授業の概要をあらかじめ把握し、自ら積極的に受講する意欲を起こし、勉学の習慣を培うために作成した。

各授業を系統的に理解できるように、アウトラインをまとめてあるので、下記のとおり活用されたい。

## 記

- 1) 授業に際し、事前に該当授業のページに目を通しておくこと。
- 2) 授業に際し、本書を必ず持参し、必要に応じてチェックすること。
- 3) 欠席した場合には、該当授業のページを確認し、事後の補習に備えること。
- 4) やむを得ざる事情により休講した場合には、該当授業の変更を確認しておくこと。
- 5) 予習と復習の指針とすること。
- 6) 試験に際し、試験範囲等の系統的勉強の指針とすること。



## 令和6年度（第1学年 後学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00 )	10:40 )	13:10 )	14:50 )	16:30 )
	10:30	12:10	14:40	16:20	18:00
月	国語表現 (小原)	心理学 (栗原)	生物学 (堀江)	ピア・サポート	※
火	法学 (海老澤)	社会福祉学 (高山)	話し合い基盤型問題解決演習A <sup>(注)</sup> (田谷)		※
			化学実習B <sup>(注)</sup> (戸円)		
水	化学 (戸円)	発生と再生 (中原)	行動科学 (俣木)	ホームルーム	※
木	生命歯学概論 (統合:内川)	歯の解剖学 (春原/菊池)	化学実習A <sup>(注)</sup> (戸円)		※
			話し合い基盤型問題解決演習B <sup>(注)</sup> (田谷)		
金	医学統計学 (一宮)	医学英語 (横山)	物理学 Zoom (小野)	食育学 (名生)	※

(注) : 上段は奇数 (A組) , 下段は偶数 (B組)

- 1) 授業期間 令和6年9月30日(月)～令和6年12月24日(火)  
令和7年1月6日(月)～令和7年1月20日(月)  
(令和6年12月25日(水)～令和7年1月3日(金)は冬期休業)
- 2) 講 堂 合同講義 141講堂  
医学統計学 141講堂 (もしくはPCルーム)  
化学実習 6階生化学実習室
- 3) そ の 他 ①年度内で2回程“口腔リハビリテーション多摩クリニック”において、上記曜日以外に実習を行う。  
②「※」は補講、特別授業、相互学習 (ピア・サポート) 等。  
③「※」の時間で祝日調整を実施。(今年度は月曜日科目各1回)  
④12月24日(火)は、金曜日時間割を実施する。
- 4) 年間総合単位数 48.5単位

# 授業科目の履修時期と単位数

【2024年度第1学年以降】

授 業 科 目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年		学士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後			
心理学	3													
医療コミュニケーション学	1.5													
法学	1.5													
社会福祉学	1.5													
人類学	1.5													
医学英語	3													
国語表現	3													
数学	1.5													
スポーツ・健康学実技	1													
物理学	3													
化学	4.5													
化学実習	1													
生物学	4.5													
生物学実習	1													
医学統計学	1.5													
歯科医療情報学実習	1													
プロフェッショナルリズム1	1.5													
話し合い基盤型問題解決演習	1													
学習法基本概論	1.5													
病院医療概論	1.5													
食育学	1.5													
生命歯学概論	2													
発生と再生	1.5													
行動科学	1.5													
歯学英語	3													
解剖学	4.5													
解剖学実習	2													
歯の解剖学	3													
歯の解剖学実習	1													
組織学	4.5													
組織学実習	1													
生理学	4.5													
生理学実習	1													
生化学	4.5													
生化学実習	1													
微生物学	4.5													
微生物学実習	1													
薬理学	4.5													
薬理学実習	1													

授 業 科 目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年		学士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
衛生・公衆衛生学	3			■	■									
口腔保健学	3					■	■							
口腔衛生学	1.5							■						
衛生学・口腔衛生学実習	1						■							
歯科理工学	4.5			■	■	■	■							
歯科理工学実習	1						■							
病理学	4.5				■	■	■							
病理学実習	1						■							
スポーツ歯学	1			■										
プロフェッショナルリズム2	1.5			■										
臨床につなげる基礎学と教養	1.5			■										
地域連携・在宅医療概論	1.5				■									
歯科法医学	1.5			■										
生命歯学探究	1.5				■									
生命歯学探究実習	1				■									
コミュニケーション概論実習	1			■										
歯科硬組織修復学	4.5					■	■	■						
歯科硬組織修復学実習	1						■							
歯内療法学	4.5						■	■	■					
歯内療法学実習	1							■						
歯周病学	4.5						■	■	■					
歯周病学実習	1							■						
全部床義歯補綴学	3					■	■	■						
全部床義歯補綴学実習	1							■						
部分床義歯補綴学	3							■	■					
部分床義歯補綴学実習	1								■					
歯冠補綴学	4.5					■	■	■						
歯冠補綴学実習	1							■						
口腔外科学	3					■	■							
口腔内科学	3							■	■					
口腔外科の基本手技実習	1								■					
歯科矯正学	3						■	■						
歯科矯正学実習	1							■						
小児歯科学	3						■	■						
小児歯科学実習	1							■						
歯科放射線学	4.5					■	■	■						
高齢者歯科学	1.5						■							
外科学	1.5						■							
内科学	1.5						■							
歯科麻酔・救急処置	3							■	■					



授 業 科 目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年		学 士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
総合基礎歯学	2								■					
統合臨床基礎学実習	1								■					
障害者歯科学	1								■					
口腔インプラント学	1.5								■					
社会歯科学	1.5								■					
総合歯科医学	3									■	■			
臨床実習	6.5									■	■			
基礎医学演習 1	1		■											
基礎医学演習 2	1				■									
総合基礎医学演習 1	1						■							
総合基礎医学演習 2	1							■						
臨床歯学探究	1										■			
総合科目①②③	3											■	■	
包括歯科医学①②	1													■

単位合計数	199.5単位
-------	---------

---

## 前学期授業科目

---

医療コミュニケーション学	10
心理学	12
物理学	14
数学	16
病院医療概論（病院実習）	18
病院医療概論（ハンドスキル実習）	20
病院医療概論（多摩クリニック）	22
化学	24
生物学実習	28
スポーツ・健康学実技	30
国語表現	32
生物学	36
学習法基本概論	40
歯科医療情報学実習	42
生命歯学概論	44
プロフェッショナリズム1	46
医学英語	48
人類学	50
（計 16科目）	

Medical Communication .....	10
Psychology .....	12
Physics .....	14
Mathematics .....	16
Observation of Dental Clinical .....	18
Practice of hand skills training .....	20
Observation of Tama Hospital .....	22
Chemistry .....	24
Practice of Biology .....	28
Sports and Wellness Science .....	30
Japanese Language Expression .....	32
Biology .....	36
Introduction to basic learning .....	40
Dental Informatics .....	42
Life Dentistry .....	44
Professionalism 1 .....	46
Medical English .....	48
Anthropology .....	50
(計 16科目)	

令和6年度（第1学年 前学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00 )	10:40 )	13:10 )	14:50 )	16:30 )
	10:30	12:10	14:40	16:20	18:00
月	医療コミュニケーション学 (隈 部)	心 理 学 (栗 原)	物 理 学 Zoom (小 野)	数 学 Zoom (小 野)	ホームルーム
火	病院医療概論 (内川/柵木)	化 学 (戸 円)	生物学実習 A <sup>(注)</sup> (豊 田)		※
			スポーツ・健康学 B <sup>(注)</sup> (実技:中 田)		
水	国語表現 (小 原)	生 物 学 (堀 江)	学習法基本概論 (田 谷)	歯科医療情報学 (実習:安 藤)	
木	生命歯学概論 (統合:新谷)	プロフェッショナル ナリズム1 (菊池/添野)	スポーツ・健康学 A <sup>(注)</sup> (実技:中 田)		※
			生物学実習 B <sup>(注)</sup> (豊 田)		
金	化 学 (戸 円)	医学英語 (横 山)	人 類 学 (馬 場)	生 物 学 (堀 江)	※

(注) : 上段は奇数 (A組), 下段は偶数 (B組)

- 1) 授 業 期 間 令和6年4月9日(火)～令和6年7月12日(金)  
令和6年8月23日(金)～令和6年9月2日(月)  
(令和6年7月16日(火)～令和6年8月22日(木)は夏期休業)
- 2) 講 堂 合同講義 141講堂  
歯科医療情報学実習 PCルーム  
生物学実習 4階生物学実習室
- 3) そ の 他 ①年度内で2回程“口腔リハビリテーション多摩クリニック”において、上記曜日以外に実習を行う。  
②「※」は補講, 特別授業, 相互学習 (ピア・サポート) 等。  
③「※」の時間で祝日調整を実施。(今年度は月曜日科目各1回)

# 医療コミュニケーション学

月曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

医療が生命にかかわる特殊な分野であることを認識し、歯科医師の患者とのより良いコミュニケーションを学ぶ。専門用語の扱いや、患者の受け止め方など医療用語を中心に学ぶ。インフォームド・コンセント、セカンド・オピニオンでの医療情報の伝え方も身につける。臨床栄養学上の医学専門用語を事例に学ぶ。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
神崎 仁, 隈部まち子	おまかせしない医療	第2版	慶應義塾出版会

## 担当者一覧

隈部まち子

## 学習方略

- 講義   
  示説 (デモンストレーション)   
  グループワーク (PBL, TBLを含む)   
  実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [60%]   
  論述試験 [20%]   
  口頭試験 [--%]   
  レポート [20%]  
 ポートフォリオ [--%]   
  シミュレーションテスト [--%]   
  実地試験 [--%]   
  観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]   
  その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 月曜日 8:40~9:00 10:30~10:50

場所: 本館1階 講師室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月15日	隈部まち子	ユニット1: 患者に寄り添う歯科医師の話し方総論	1) 医療の特殊性を説明する。 2) 患者とのコミュニケーションの留意点を学ぶ。 3) 1年生から実行できることを学習する。
4月22日	隈部まち子	ユニット2: 医療コミュニケーション学の変遷を学ぶ。	1) 急速に変化した患者とのコミュニケーションの経緯と最新の事例を学ぶ。 2) 臨床栄養学の観点から、喫煙の弊害と禁煙の重要性を説明する。
5月13日	隈部まち子	ユニット3: 患者が不快に思う歯科医師のこぼれを学ぶ。	1) 患者が不満に思う何げないひと言を提示する。 2) ドクター・ハラスメントを理解する。
5月13日	隈部まち子 5限目	ユニット4: 医療コミュニケーションの応用編の実践	1) 医療現場での様々な場面における医療コミュニケーションの実例を提示する。 2) 新たな場面を想定し、よりの確な医療コミュニケーションを実施する。
5月20日	隈部まち子	ユニット5: インフォームド・コンセント	1) インフォームド・コンセントの変遷を学ぶ。 2) インフォームド・コンセントの基本事項を学ぶ。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月27日	隈部まち子	ユニット6：インフォームド・コンセント	1) インフォームド・コンセントにおける歯科医師義務を学ぶ。 2) インフォームド・コンセントにおける患者の権利を学ぶ。
6月3日	隈部まち子	ユニット7：専門用語の伝え方を学ぶ。	1) 臨床栄養学上の疾患を説明する。 2) この疾患を例に患者に専門用語をどう伝えるかを説明する。
6月10日	隈部まち子	ユニット8：米英と日本の医療制度の違いとコミュニケーションの違いを学ぶ。	1) アメリカの医療制度と日本のとの違いを説明する。 2) イギリスの医療制度と日本との違いを説明する。 3) 制度が違っているとコミュニケーションも変わることを説明する。
6月17日	隈部まち子	ユニット9：セカンド・オピニオン	1) セカンド・オピニオンの背景と経過を説明する。 2) セカンド・オピニオンの内容を説明する。
6月24日	隈部まち子	ユニット10：セカンド・オピニオン	1) セカンド・オピニオンを受ける方法を学ぶ。 2) セカンド・オピニオンの会話を実施する。
7月1日	隈部まち子	ユニット11：ネット社会と医療コミュニケーション	1) ネット情報の利点を学ぶ。 2) ネット情報の弊害と対処を学ぶ。
7月8日	隈部まち子	ユニット12：患者とのコミュニケーションの記録	1) 記録の重要性を説明する。 2) SOAP POMRなどを説明する。
8月26日	隈部まち子	ユニット13：パラメディカルとのコミュニケーション	1) チーム医療としてのコミュニケーションを説明する。 2) パラメディカルとのコミュニケーションの意義、留意点を学ぶ。
9月2日	隈部まち子	ユニット14：前学期の総括	前回までの学習内容を整理・再確認し、問題解決に対応できる知識を習得する。

## 本学期的学習目標 (GIO)

心理学分野の基礎知識を習得する。心理学的研究方法で実証された心のメカニズムを学び、目に見えず、触れえない心を理解する。

### 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

斎藤 勇	イラストレート心理学入門	第3版	誠信書房
------	--------------	-----	------

### 担当者一覧

栗原佳代子

### 学習方略

- 講義   
  示説 (デモンストレーション)   
  グループワーク (PBL, TBLを含む)   
  実習  
 その他 ( )

### 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [40%]   
  論述試験 [40%]   
  口頭試験 [--%]   
  レポート [20%]  
 ポートフォリオ [--%]   
  シミュレーションテスト [--%]   
  実地試験 [--%]   
  観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]   
 その他 ( [--%] )

### オフィスアワー

日時: 毎週月曜日 (12:10~13:10)

場所: 本館 1F 講師控室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月15日	栗原佳代子	ユニット1: 心理学入門	1) 社会生活と心理学のかかわりを述べる。(A-4-2)-③ 2) 心理学の歴史を述べる。 3) 実験法と観察法について説明する。 4) 各ユニットの簡単な説明する。
4月22日	栗原佳代子	ユニット2: 知覚	1) 感覚の刺激閾, 刺激頂, 弁別閾を説明する。 2) 感覚の特性, 順応, 対比, 残留感覚を説明する。 3) 知覚の選択, 注意を説明する。(A-2-1)-③ 4) きめの勾配, 陰影, 遠近法による奥行き知覚を説明する。 5) 知覚の安定性, 恒常性について説明する。 6) 経験, 期待, 欲求の知覚に及ぼす影響や文化差による知覚について考える。
5月13日	栗原佳代子	ユニット3: 学習	1) 学習の諸様式について説明する。(A-2-1)-③ 2) 古典的条件づけの理論と手続きを説明する。 3) 試行錯誤学習と道具的条件づけを説明する。 4) シェイピング, 目標の勾配を説明する。 5) 反応頻度と強化スケジュールを説明する。 6) 学習の効率, 集中・分散学習を説明する。 7) 多様な学習方式を説明する。(A-2-1)-③
5月20日	栗原佳代子	ユニット4: 記憶	1) 記銘の材料, 系列内位置効果, チャンク数について説明する。 2) 機械, 図式, 論理的記銘方法を説明する。 3) 保持, レミニセンスについて述べる。 4) 記憶内容の質的変容を説明する。 5) 再生法と再認法を説明する。 6) 短期記憶と長期記憶を解説する。(A-2-1)-③

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月27日	栗原佳代子	ユニット5：心理検査演習、YG検査	1) YG 検査を実施し、測定をする。(E-5-3)-②) 2) 各自 YG 検査結果の判定を行なう。 3) 諸領域でのYG検査の研究報告を紹介する。
6月3日	栗原佳代子	ユニット6：友人関係	1) 友人関係の機能と重要性を説明する。(A-4-2)-③) 2) 友人関係の発達的变化と自己の社会的視点獲得の関連を説明する。 3) 自分の友人関係を振り返る。 4) 対人関係を考える。(A-4-2)-③
6月10日	栗原佳代子	ユニット7：パーソナリティ1	1) パーソナリティの定義を説明する。(A-4-2)-③ 2) 性格の類型論について説明する。 3) クレッチマーとシェルドンの類型を説明する。 4) ユングの内向性と外向性を説明する。 5) シュプリンガーの理論を説明する。
6月10日	栗原佳代子	ユニット8：パーソナリティ2 5限目	1) 性格の特性論について説明する。(A-4-2)-③ 2) 性格の形成について、外的要因、内的要因、主体的要因を説明する。(A-4-2)-③ 3) 性格の診断を説明する。 4) 観察法、面接法、質問紙法、投影法、作業検査法について説明する。
6月17日	栗原佳代子	ユニット9：葛藤と防衛機制	1) 葛藤と耐性について説明する。(A-2-1)-③) 2) フラストレーションを説明する。 3) 現実的、合理的解決方法を説明する。 4) ストレスについて解説する。 5) 自我の防衛機制を例示し、解説する。
6月24日	栗原佳代子	ユニット10：適応異常	1) PTSD を説明する。 2) 悲嘆について説明する。 3) 曖昧な喪失について説明する。 4) 外傷後成長について説明する。 5) レジリエンスについて説明をする。 6) ネガティブな経験について考える。
7月1日	栗原佳代子	ユニット11：知能1	1) 知能の概念を説明する。(A-2-1)-③) 2) ピアジェの認知発達を説明する。 3) 子どもの病気の概念に関する認知の発達を説明する。 4) 知能の定義を説明する。(A-2-1)-③)
7月8日	栗原佳代子	ユニット12：知能2	1) 知能の構成因子を解説する。 2) WISCIVを解説する。 3) 創造性について説明する。 4) 社会的知能と情動知能を説明する。
8月26日	栗原佳代子	ユニット13：動機づけ	1) 行動喚起と行動目標づけについて説明する。(A-2-1)-③) 2) 生理的動機と内発的動機を説明する。 3) 社会動機、達成動機、親和動機を説明する。 4) 認知的不協和について説明する。
9月2日	栗原佳代子	ユニット14：前学期のフィードバック	前回までの学習内容を整理・再確認し、問題解決に対応できる知識を習得する。



# 物理学（遠隔授業）

月曜日 13:10~14:40

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医療に用いられる高度な機器の動作原理を理解するために、力学、波動、熱力学などの物理法則を理解し、論理的に説明するための素養を身につける。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
村田 浩他著	医歯系の物理学	第2版	東京教学社
	高等学校 物理基礎・物理 教科書・参考書		

## 担当者一覧

小野裕明

## 学習方略

- 講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [50%]     論述試験 [50%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 月曜日 昼休み 12:10~13:10  
場所: Zoom

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月15日	小野 裕明	ユニット1: 物理基礎数学	1) 三角関数の計算を再確認する。 2) ベクトルの合成と分解を再確認する。 3) 指数, 対数の計算を再確認する。 4) 典型的な微積分を再確認する。
4月22日	小野 裕明	ユニット2: 力学1 力の合成と分解, 力のつり合い	1) ベクトルを用いて力を合成・分解する。 2) 力を成分に分解する。 3) 力のつり合いを説明する。
5月13日	小野 裕明	ユニット3: 力学2 剛体とモーメント・弾性体	1) 大きさのある物体の運動を記述する。 2) モーメントと回転作用を説明する。 3) 物体の重心を説明する。 4) 弾性体のひずみとヤング率を説明する。(B-1-1)
5月20日	小野 裕明	ユニット4: 力学3 速度・加速度と運動の法則	1) 物体の速度・加速度を説明する。 2) 運動の3法則を説明する。 3) 運動方程式を記述する。 4) 放物運動を説明する。
5月27日	小野 裕明	ユニット5: 力学4 円運動・振動運動などの周期的運動	1) 円運動の運動方程式を記述する。 2) ばねによる振動運動を記述する。 3) 振動周期と振動数の関係を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
6月3日	小野 裕明	ユニット6：力学5 仕事とエネルギー	1) 仕事とエネルギーの関係を説明する。(A-1-1-3) 2) 位置と運動のエネルギーを記述する。 3) 力学的エネルギーの保存を説明する。 4) エネルギーの変換を説明する。(A-1-1-3)
6月10日	小野 裕明	ユニット7：力学6 慣性力と遠心力	1) 慣性力を説明する。 2) 遠心力を説明する。 3) 遠心分離器の原理を説明する。
6月17日	小野 裕明	ユニット8：波動1 波の性質と反射・屈折・回折	1) 波の基本的な性質を理解する。 2) 波の反射を説明する。 3) 波の屈折現象を説明する。 4) ホイヘンスの原理を用いて波の回折を説明する。
6月24日	小野 裕明	ユニット9：波動2 波の重ね合わせと干渉	1) 波の重ね合わせを理解する。 2) ノイズキャンセリングの仕組みを説明する。 3) 波の回折と干渉現象を説明する。 4) 光の干渉を説明する。(B-1-1)
6月24日	小野 裕明 ※5限目	ユニット10：波動3 音波と光波	1) 音波と光波の性質を理解する。 2) ドップラー効果を理解し、超音波検査の仕組みを説明する。(D-2-5-9) 3) 光のスペクトルを説明する。(B-1-1) 4) レーザーの仕組みを説明する。(B-1-1, B-3-3)
7月1日	小野 裕明	ユニット11：熱力学1 熱と温度	1) 熱と温度の関係を説明する。(A-1-1-3) 2) 気体の熱変化を説明する。 3) 気体の状態方程式を記述する。
7月8日	小野 裕明	ユニット12：熱力学2 熱伝導と熱放射	1) 物質の熱膨張を理解する。(B-1-1) 2) 物質の熱伝導を理解する。(B-1-1) 3) 物体からの熱放射を理解する。 4) 地球の熱収支について説明する。
8月26日	小野 裕明	ユニット13：熱力学3 熱力学第一法則と熱機関・熱効率	1) 熱力学第一法則を説明する。 2) 熱機関での熱の移動と仕事の間関係を説明する。 3) 熱機関の熱効率を理解する。 4) ヒートポンプの仕組みを理解する。
9月2日	小野 裕明	ユニット14：総括	1) 演習問題を解く。

# 数学（遠隔授業）

月曜日 14:50~16:20

## 本学期的学習目標（GIO）

歯科医師の素養として不可欠な論理的思考力と深い洞察力を身につけるために、基礎的数学知識を再確認し、数学・統計手法を用いて様々な事象を定量的に表現・評価する方法を習得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
Michael Harris (著), Jacquelyn Taylor (著), Gordon Taylor (著), 長谷川 政美 (翻訳)	生命科学・医科学のための数学と統計		東京化学同人
	高等学校 数学I・A・II・B・III 教科書・参考書		
加藤文元 監修/数研出版編集部 編著	チャート式シリーズ 大学教養 微分積分		数研出版
加納克己, 高橋秀人	基礎医学統計学	6	南江堂

## 担当者一覧

小野裕明

## 学習方略

- 講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [50%]     論述試験 [50%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 昼休み 12:10~13:10  
場所: Zoom

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月15日	小野 裕明	ユニット1: 歯科医に必要な数学	1) 高等学校まで学んだ数学知識を再確認する。 2) 基本的な数学公式の定義を再確認し説明する。 3) 素数とその応用を説明する。(C-6-3-1) 4) 歯科医に必要な数学素養を理解する。
4月22日	小野 裕明	ユニット2: 三角関数とベクトル	1) 三平方の定理と三角関数を説明する。 2) 三角関数の規則を記述する。 3) ラジアンでの角度の表現を説明する。 4) ベクトルの基本的な特徴と加減法を説明する。
5月13日	小野 裕明	ユニット3: 指数と対数	1) 累乗の規則を説明する。 2) 対数の規則を説明する。 3) 指数関数, 対数関数を用いてデータや自然現象を表現する。(D-5-1-1) 4) 指数的増加・減少傾向を示す事象を説明する。
5月20日	小野 裕明	ユニット4: 導関数と微分	1) 関数の極限を説明する。 2) 導関数を導出して関数を微分する。 3) 様々な微分の規則を記述する。 4) 導関数の極値と最大・最小の関係を説明する。
5月27日	小野 裕明	ユニット5: 微分と積分	1) 微分と積分の関係を説明する。 2) 積分とグラフの面積の関係を説明する。 3) 様々な関数の積分計算を行う。 4) 自然現象と積分の関係を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SBOs)
5月27日	小野 裕明 ※5限目	ユニット6：微分方程式と偏微分	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 微分方程式を積分して一般解を求める。</li> <li>2) 微分方程式と自然現象の関係を説明する。</li> <li>3) 2変数の微分を偏微分で計算する。</li> <li>4) 全微分と誤差の伝播の関係を記述する。</li> </ol>
6月3日	小野 裕明	ユニット7：数列と級数	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 等差数列と等比数列を説明する。</li> <li>2) 数列の極限と極限値を記述する。</li> <li>3) 無限級数の収束と発散を説明する。</li> <li>4) 自然現象とフィボナッチ数列の関係を説明する。</li> </ol>
6月10日	小野 裕明	ユニット8：関数の収束・発散と級数展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 関数の収束・発散を説明する。</li> <li>2) 関数を級数展開する。</li> <li>3) テイラー展開・マクローリン展開を説明する。</li> </ol>
6月17日	小野 裕明	ユニット9：身の回りの統計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 身の回りで用いられる統計手法を理解する。(C-6-2-1)</li> <li>2) 統計処理の手順を説明する。(C-6-2-1)</li> <li>3) バイアスの除去について理解する。(C-6-2-1)</li> <li>4) EBMについて説明する。(C-6-1-1)</li> </ol>
6月24日	小野 裕明	ユニット10：単位と単位換算	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 国際単位系で定義される単位を列挙する。(D-2-5-1)</li> <li>2) 単位を他の単位に変換する。(D-2-5-1)</li> <li>3) 国際単位系の接頭語を活用する。(D-2-5-1)</li> <li>4) 組立単位を基本単位で記述する。(D-2-5-1)</li> </ol>
7月1日	小野 裕明	ユニット11：集合・組み合わせと確率	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 事象の場合分けを行う。</li> <li>2) 順列や組み合わせを説明する。</li> <li>3) 集合の表し方を説明する。(ド・モルガンの法則)</li> <li>4) 確率の基礎を説明する。(C-6-2-1)</li> </ol>
7月8日	小野 裕明	ユニット12：平均・分散と標準偏差	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 算術平均と加重平均の違いを理解する。(C-6-2-3)</li> <li>2) 分散・標準偏差の意味を理解する。(C-6-2-1)</li> <li>3) データのばらつきを定量的に評価する。(C-6-2-1)</li> <li>4) 中心値・平均値・最頻値の違いを理解する。(C-6-2-3)</li> </ol>
8月26日	小野 裕明	ユニット13：確率分布と正規分布	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ガウス分布と中心極限定理を説明する。(C-6-2-1)</li> <li>2) 様々な確率分布(二項分布・ポアソン分布)を説明する。(C-6-2-1)</li> <li>3) 正規分布の特徴を説明する。(C-6-2-1)</li> <li>4) 正規分布の広がりや標準偏差の関係を説明する。(C-6-2-1)</li> </ol>
9月2日	小野 裕明	ユニット14：総括	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 演習問題を解く。</li> </ol>

# 病院医療概論/病院実習

火曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯学生としての自覚と心構えを身につけるために医療現場を体験修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集 書名 版 出版社

病院医療概論担当 病院医療概論の手引き

## 担当者一覧

内川喜盛, 柵木寿男, 仲谷 寛, 高橋賢晃, 小倉 晋, 甲田彩理沙, 高橋彬文, 小林 鷹, 廣瀬 渚, 小柳圭史, 三枝慶祐, 井出 葵, 丸野里絵, 河合貴俊, 大野 慶, 大澤銀子, 山本陸矢, 美濃直輝, 齋藤敦史, 石田鉄光, 石川結子, 山瀬 勝, 原 節宏, 我妻由梨, 岡山浩美, 小池未来, 藤城建樹, 本間真弓, 下山真奈美, 村松健司, 白瀬敏臣, 亀岡 亮, 芦沢みなみ, 宮下 渉, 窪田大祐, 館 晶彦, 内川菜摘, 安田麻子, 阿部恵一, 今井智明, 辻本源太郎, 山本麻貴, 林 宗廣, 岩田 洋, 齋藤圭輔, 落合絵里子, 飯島孝守, 芝崎雅一, 渡邊友介

## 学習方略

講義  示説 (デモンストレーション)  グループワーク (PBL, TBLを含む)  実習  
 その他 ( 見学 )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [--%]  論述試験 [--%]  口頭試験 [--%]  レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]  シミュレーションテスト [--%]  実地試験 [--%]  観察記録 [100%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]  その他 (服装, 頭髪, 髪の毛の色等 [減点式])

## オフィスアワー

日時: 月曜日~金曜日 16:00~17:00

場所: 附属病院 1 階病院事務部総務課窓口問合せにて, 病院医療概論担当者内川喜盛に連絡

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月9日	内川 喜盛 仲谷 寛	ユニット1: 病院医療概論実習ガイダンス	1) 身だしなみについて説明する。(PR-01, E-2-1-1-1) 2) 患者さんとの対応について述べる。(PR-02, E-2-1-1-1) 3) 病院内で遵守する規則について述べる。(PR-02, 03) 4) 集合場所を把握する。(PR-03)
	柵木 寿男	ユニット2: ハンドスキル実習ガイダンス	1) ハンドスキル実習の重要性を説明する。(PR-04) 2) ハンドスキル実習の主旨を具体的に述べる。(PR-04)
	高橋 賢晃	ユニット3: 歯科における言語・摂食嚥下リハビリテーションと地域連携  ※4月9日は全員 (奇数・偶数とも) 9時に141講堂に集合	1) 多摩クリニックの地域における役割を説明する。(IP-02, SO-03) 2) 患者やその家族の抱えている思いを感じる。(PR-01, PR-02, CM-01) 3) 患者やその家族への適切な対応を知る。(PR-01, PR-02, CM-01)
4月16日 7月9日	総合診療科1 小林 鷹	ユニット4: 診療の流れ	1) 診療室の流れを説明する。(PR-01, CM-02) 2) 健康調査票を記入する。(CS-01, CM-01)
4月16日 7月9日	総合診療科2 河合 貴俊	ユニット5: 術前診査	1) 歯の色をシェードガイドにて記録する。(E-5-3-4-1-6) 2) 歯の色をデジタルカメラにて記録する。(E-5-3-4-1-6) 3) 歯の色を測色計にて記録する。(E-5-3-4-1-6) 4) 歯の色調について評価する。(E-5-3-4-1-6)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月16日～7月9日	総合診療科3 大澤 銀子	ユニット6：歯冠研磨	1) 歯科用ユニットを安全に操作する。(E-1-1-1) 2) 歯冠研磨処置を実施する。(E-5-2-3) 3) 口腔衛生管理の重要性について述べる。 (D-5-1-3, E-5-2-1)
4月16日～7月9日	総合診療科4 石田 鉄光 石川 結子	ユニット7：印象採得	1) アルジネート印象材を用いて上顎の印象採得を実施する。(B-2-2) 2) 印象に石膏を注入し模型製作を実施する。(B-2-2)
4月16日～7月9日	口腔外科 藤城 建樹	ユニット8：口腔外科の臨床について	1) 院内感染対策を説明する。(PS-09, A-4-1) 2) 医療面接について説明する。(PR-02, D-2-1) 3) 外来診療ならびに手術を見学する。(PS-06, D-3-1) 4) 入院に必要な設備を説明・見学する。(PS-07, B-3) 5) 周術期における多職種連携の重要性を理解する。 (IP-01, C-1-3)
4月16日～7月9日	小児歯科 村松 健司	ユニット9：小児歯科診療の特徴	1) 小児の特徴を理解する。(GE-03, D-2-1-2-1) 2) 小児患者と接することを体験する。 (CM-03, D-2-1-2-3) 3) 口腔内の清掃法を説明する。(D-5-6-1) 4) 小児歯科診療の特徴を理解する。 (A-3-4-1, D-5-6-2) 5) 小児の診療室での対応を実施する。 (CM-03, E-2-1-2-2)
4月16日～7月9日	矯正歯科 宮下 渉	ユニット10：口腔内写真の撮影	1) 矯正診断に必要な資料を列挙する。(D-5-5-3) 2) 口腔内写真の撮影手順を説明する。(D-2-2-2) 3) 患者頭位や撮影姿勢を工夫する。(E-5-1-2) 4) 痛みが生じないように口角鉤を操作する。 (E-2-2-3) 5) 口腔内写真撮影を実施する。(E-2-2-3) 6) 口腔内写真の撮影結果を評価する。(E-2-2-4)
4月16日～7月9日	歯科麻酔・全身管理科 安田 麻子	ユニット11：歯科麻酔の臨床と全身管理	1) 歯科治療時の患者管理・麻酔管理について説明する。 (D-1-2) 2) 生体情報を理解する。(D-2-3, D-2-3-2) 3) 全身状態の観察（バイタルサイン）を生体モニターを用いて体験する。(D-2-3-3) 4) 歯科麻酔の臨床を見学する。(PR-01)
4月16日～7月9日	放射線検査室 林 宗廣	ユニット12：エックス線撮影	1) 歯科で利用されるエックス線撮影について説明する。 (C-2-5-5) 2) 放射線の有用性について説明する。(C-2-5-5) 3) 放射線の人体への影響について説明する。 (C-2-5-2)
4月16日～7月9日	歯科技工室 落合絵里子	ユニット13：歯科精密鑄造	1) 鑄造法（ロストワックス法）の利点について述べる。 (B-3-1) 2) ロウ形成を体験する。(B-3-1) 3) 合金の融解方法を体験する。(B-3-1) 4) 鑄造体の研磨を体験する。(B-3-1)
8月27日	小倉 晋	ユニット14：歯科インプラント治療	1) 歯の喪失について説明する。(D-5-3-2-1) 2) 欠損補綴について説明する。 (D-5-3-1-1, D-5-3-2-2) 3) 歯科インプラント治療について説明する。 (D-5-3-3-1)
8月27日	内川 喜盛 柵木 寿男	ユニット14：総括／アンケート ※8月27日は全員（偶数・奇数とも）9時に141講堂に集合	1) 病院医療概論実習の重要性を述べる。 (PR-01, PR-02, E-2-1-1-1) 2) ハンドスキル実習の必要性を説明する。(PR-04)

# 病院医療概論/ハンドスキル実習

火曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯学生としての自覚と心構えを身につけるために医療現場を体験修得する。

歯科医療に要求される精密な手技を適確に行うために、物造りで行う基本的な手指の使い方を理解し、正確な作業を行うための初歩的・基本的な技術および技能を身につける。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

著者・編集	書名	版	出版社

## 担当者一覧

柵木寿男, 内川喜盛, 仲谷 寛, 田村文誉, 前田宗宏, 西田太郎, 関谷美貴, 三枝慶祐, 新井一仁, 鈴木章弘, 栃木啓佑, 馬場龍一, 村樫悦子, 五十嵐寛子, 前野雅彦, 河合貴俊, 河本 芽, 中澤美和, 里見貴史, 渋井武夫, 稲田 諒, 砂田勝久, 篠原健一郎, 筒井友花子, 酒井有沙, 島村直宏, 小林清佳, 辻本源太郎  
各分野担当インストラクター

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習

その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [--%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [--%]       レポート [40%]

ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [60%]

態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 実習講義終了後

場所: 各ユニット担当者から提示

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月9日	内川 喜盛 仲谷 寛	ユニット1: 病院医療概論実習ガイダンス	1) 身だしなみについて説明する。(PR-01, E-2-1-1-1) 2) 患者さんとの対応について述べる。(PR-02, E-2-1-1-1) 3) 病院内で遵守する規則について述べる。(PR-02) 4) 集合場所を把握する。(PR-01)
	柵木 寿男	ユニット2: ハンドスキル実習ガイダンス	1) ハンドスキル実習の重要性を説明する。(PR-04) 2) ハンドスキル実習の主旨を具体的に述べる。(PR-04)
	高橋 賢晃	ユニット3: 歯科における言語・摂食嚥下リハビリテーションと地域連携	1) 多摩クリニックの地域における役割を説明する。(S0-05, E-6-2) 2) 待合室から診療室への案内を安全に実施する。(CM-01) 3) 患者やその家族の抱えている思いを感じる。(PR-02) 4) 患者やその家族への適切な対応を知る。(CM-01)
4月16日	西田 太郎	ユニット4 (偶数): ミラーテクニック	1) ミラーテクニックを簡単に説明する。(PR-04) 2) ミラーを用い対象物を観察する。(PR-04) 3) ミラーを用い図形に応じて描写する。(PR-04)
4月23日	西田 太郎	ユニット5 (奇数): ミラーテクニック	1) ミラーテクニックを簡単に説明する。(PR-04) 2) ミラーを用い対象物を観察する。(PR-04) 3) ミラーを用い図形に応じて描写する。(PR-04)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月7日	栃木 啓佑	ユニット6（偶数）：金属線の屈曲	1) 矯正用ワイヤーの用途と機械的特性を説明する。(B-2-4) 2) プライヤーを用いて金属線を任意の形態に屈曲する。(D-5-5-4)
5月14日	栃木 啓佑	ユニット7（奇数）：金属線の屈曲	1) 矯正用ワイヤーの用途と機械的特性を説明する。(B-2-4) 2) プライヤーを用いて金属線を任意の形態に屈曲する。(D-5-5-4)
5月21日	村樫 悦子	ユニット8（偶数）：器具を用いた把持法	1) ピンセットにて的確に把持する。(PR-04) 2) グローブ着用下にてピンセットで的確に把持する。(PR-04) 3) グローブの有無での把持の違いを理解する。(PR-04)
5月28日	村樫 悦子	ユニット9（奇数）：器具を用いた把持法	1) ピンセットにて的確に把持する。(PR-04) 2) グローブ着用下にてピンセットで的確に把持する。(PR-04) 3) グローブの有無での把持の違いを理解する。(PR-04)
6月4日	里見 貴史	ユニット10（偶数）：紐の結び方・縫合法	1) 縫合を簡単に説明する。(D-5-4-3) 2) 縫合糸の種類を列挙する。(B-2-6, D-5-4-3) 3) 各種縫合法（男結び、女結び、外科結び）を実施する。(E-5-3-5-4)
6月11日	里見 貴史	ユニット11（奇数）：紐の結び方・縫合法	1) 縫合を簡単に説明する。(D-5-4-3) 2) 縫合糸の種類を列挙する。(B-2-6, D-5-4-3) 3) 各種縫合法（男結び、女結び、外科結び）を実施する。(E-5-3-5-4)
6月18日	柵木 寿男	ユニット12（偶数）：紫外線重合レジンの加工	1) 紫外線重合レジンを簡単に説明する。(B-2-1) 2) 歯科用ピンセットの適切な使用法を模倣する。(PR-04) 3) 微小物の適切な把持法を実施する。(PR-04)
6月25日	柵木 寿男	ユニット13（奇数）：紫外線重合レジンの加工	1) 紫外線重合レジンを簡単に説明する。(B-2-1) 2) 歯科用ピンセットの適切な使用法を模倣する。(PR-04) 3) 微小物の適切な把持法を実施する。(PR-04)
7月2日	酒井 有沙	ユニット14（偶数）：相互実習によるバイタルサインの測定	1) バイタルサインを列挙する。(D-2-3-2) 2) 相互実習で脈拍の測定を実施する。(D-2-3-3) 3) 相互実習で血圧の測定を実施する。(D-2-3-3)
7月9日	島村 直宏	ユニット15（奇数）：相互実習によるバイタルサインの測定	1) バイタルサインを列挙する。(D-2-3-2) 2) 相互実習で脈拍の測定を実施する。(D-2-3-3) 3) 相互実習で血圧の測定を実施する。(D-2-3-3)
8月27日	内川 喜盛 柵木 寿男	ユニット16：総括／アンケート * 8月27日は全員（偶数・奇数とも）9時に141講堂に集合	1) 病院医療概論実習の重要性を述べる。(PR-01, PR-02, E-2-1-1-1) 2) ハンドスキル実習の必要性を説明する。(PR-04)





◎集合場所：日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 1階受付前  
〒184-0011 東京都小金井市東町4-44-19 JR 中央線 東小金井駅 南口駅前

◎登院時の服装：スーツ，革靴（サマータイムはクールビズ対応）

◎クリニック内または歯科訪問診療時の服装等：白・紺・黒のポロシャツ（無地）  
冬季は上着の着用可（無地）  
チノパン，院内靴  
名札着用，白衣は不可（不要）  
華美でない髪型・化粧とし，アクセサリーは付けない  
服装等が適当でない場合は実習中止

☆事前に多摩クリニック実習マニュアルを熟読すること（Moodle上）。

◎費用：交通費 自己負担

# 化学

火曜日 10:40~12:10  
金曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

前期の前半は、これまで十分に化学を学習していない学生に対して、医療系で必要とされる化学の基礎的内容について修得する。後半は、生化学・生理学・薬理学などの専門分野を理解する上で必要な有機化学の基本的事項を中心に修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
野島高彦	はじめての学ぶ化学	第1版	化学同人
齋藤勝浩	メディカル化学	改訂 第1版	裳華房

## 担当者一覧

戸円智幸

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [25%]     論述試験 [25%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 (ユニット14で中間試験を行う [50%])

## オフィスアワー

日時: 毎週火曜日 16:30~18:00  
場所: 本館6階 自然科学教室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月9日	戸円 智幸	ユニット1: 原子, 元素と周期表	1) 原子の構造について説明する。(A-1-1-1) 2) 元素記号の表し方について説明する。(A-1-1-1) 3) 元素の周期表がもつ周期性について説明する。 4) 元素の族について説明する。(A-1-1-1) 5) イオン化エネルギーと電子親和力について説明する。(A-1-1-1)
4月12日	戸円 智幸	ユニット2: 物質と化学反応式	1) 物質であるモル (mol) とモル質量について説明する。(A-1-1-2) 2) 原子量, 分子量および式量について説明する。(A-1-1-2) 3) アボガドロの法則について説明する。(A-1-1-2) 4) 化学式, 分子式, 組成式について説明する。 5) 化学反応式の書き方について説明する。 6) 化学反応計算について説明する。
4月16日	戸円 智幸	ユニット3: 溶液の濃度-1	1) 密度と比重について説明する。(A-1-1-2) 2) 容積パーセント (v/v%) の計算を説明する。 3) 質量パーセント (w/v%) の計算を説明する。 4) 濃度をppm, ppbで表す方法を説明する。(A-1-1-2)
4月19日	戸円 智幸	ユニット4: 溶液の濃度-2	1) モル濃度と質量モル濃度について説明する。(A-1-1-2) 2) 溶液のモル濃度の計算を説明する。(A-1-1-2) 3) 溶液の濃度計算と単位の変換方法を説明する。 4) 溶液の希釈と調整方法について説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SB0s)
4月23日	戸円 智幸	ユニット5：酸化と還元	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 酸化と還元の定義について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>2) 酸化還元反応式について説明する。</li> <li>3) 酸化数と酸化剤，還元剤について説明する。</li> <li>4) イオン化傾向について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>5) いろいろな電池について説明する。</li> </ol>
4月26日	戸円 智幸	ユニット6：物質の性質と状態	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 物質の三態変化について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>2) 加熱曲線と冷却曲線について説明する。</li> <li>3) 摂氏温度 (°C) と絶対温度 (K) について説明する。(A-1-1-3)</li> <li>4) 融解熱と蒸発熱について説明する。(A-1-1-3)</li> <li>5) 状態図について説明する。</li> </ol>
5月7日	戸円 智幸	ユニット7：気体の性質	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ボイル・シャルルの法則について説明する。(A-1-1-3)</li> <li>2) 理想気体の状態方程式について説明する。(A-1-1-3)</li> <li>3) ドルトン分圧の法則について説明する。</li> <li>4) ヘンリーの法則について説明する。</li> <li>5) 理想気体と実在気体について説明する。</li> </ol>
5月10日	戸円 智幸	ユニット8：反応熱と熱化学方程式	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 発熱反応と吸熱反応について説明する。(A-1-1-3)</li> <li>2) 熱化学方程式の表し方について説明する。</li> <li>3) 燃焼熱，生成熱，溶解熱，中和熱について説明する。(A-1-1-3)</li> <li>4) ヘスの法則について説明する。(A-1-1-3)</li> <li>5) 結合エネルギーについて説明する。</li> </ol>
5月14日	戸円 智幸	ユニット9：化学反応と化学平衡	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 活性錯体と活性化エネルギーについて説明する。(A-1-1-3)</li> <li>2) 反応速度に影響を与える要素と反応速度定数について説明する。(A-1-1-3)</li> <li>3) 触媒について説明する。</li> <li>4) 平衡状態と化学平衡の法則について説明する。(A-1-1-3)</li> <li>5) ルシャトリエの原理について説明する。(A-1-1-3)</li> </ol>
5月17日	戸円 智幸	ユニット10：束一性，コロイド	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 溶解度と溶解度積について説明する。</li> <li>2) 束一性について説明する。(A-1-1-3)</li> <li>3) 蒸気圧降下と沸点上昇について説明する。(A-1-1-3)</li> <li>4) 凝固点降下について説明する。(A-1-1-3)</li> <li>5) 浸透圧とファンツホッフの法則について説明する。</li> <li>6) 等張溶液，低張溶液，高張溶液について説明する。</li> <li>7) コロイドの種類と性質について説明する。</li> </ol>
5月21日	戸円 智幸	ユニット11：酸と塩基	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 酸と塩基の定義について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>2) 電解質と電離度について説明する。</li> <li>3) 水のイオン積 (<math>K_w</math>) について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>4) 水素イオン指数 (pH) と pH の公式を説明する。(A-1-1-2)</li> <li>5) 強酸・強塩基の pH の計算を説明する。</li> <li>6) 弱酸・弱塩基の pH の計算を説明する。</li> </ol>
5月28日	戸円 智幸	ユニット12：中和反応	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 酸，塩基により生成する塩の性質について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>2) 塩の加水分解と pH の計算を説明する。(A-1-1-2)</li> <li>3) 中和滴定の方法を説明する。(A-1-1-2)</li> <li>4) 指示薬について説明する。</li> <li>5) 中和の公式について説明する。(A-1-1-2)</li> </ol>

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SBOs)
5月31日	戸円 智幸	ユニット13：放射性同位元素	1) 同位体 (isotope) について説明する。(D-2-5-1) 2) 放射性壊変について説明する。 3) 物理学的半減期について説明する。 4) 放射線の種類と性質について説明する。(D-2-5-1) 5) 放射線の量と単位について説明する。(D-2-5-1)
6月4日	戸円 智幸	ユニット14：中間試験 中間試験は、PCルームにて行う。	ユニット1～13について中間試験を行う。
6月7日	戸円 智幸	ユニット15：化学結合と混成軌道	1) 電子の軌道を説明する。(A-1-1-1) 2) パウリの排他原理を説明する。(A-1-1-1) 3) イオン結合、共有結合、金属結合について説明する。(A-1-1-1) 4) s, p軌道を説明する。 5) sp, sp <sup>2</sup> , sp <sup>3</sup> 混成軌道を説明する。(A-1-1-1) 6) σ結合とπ結合の違いを説明する。(A-1-1-1)
6月11日	戸円 智幸	ユニット16：結合のイオン性と分子間力	1) 原子が持つ電気陰性度について説明する。(A-1-1-1) 2) 分子内分極について説明する。(A-1-1-1) 3) 分子間力 (水素結合, ファンデルワールス力, 疎水結合) について説明する。(A-1-1-2) 4) 配位結合について説明する。(A-1-1-2) 5) 原子価殻電子対反発則について説明する。
6月14日	戸円 智幸	ユニット17：アルカンとハロゲン化アルキルの構造と性質	1) 飽和炭化水素であるアルカンおよびハロゲン化アルキルの構造と性質について説明する。(A-1-1-2) 2) 第1, 第2, 第3ハロゲン化アルキルの性質について説明する。(A-1-1-2) 3) アルカンとアルキル基のIUPAC命名法を説明する。 4) ハロゲン化アルキルのIUPAC命名法を説明する。
6月18日	戸円 智幸	ユニット18：ハロゲン化アルキルの反応機構	1) 誘起効果 (I-効果) について説明する。(A-1-1-2) 2) 求核試薬と求核置換反応 (S <sub>N</sub> 2反応) を説明する。(A-1-1-2) 3) S <sub>N</sub> 2反応の立体障害について説明する。 4) 求核脱離反応 (E2反応) を説明する。 5) ハロゲン化アルキルのS <sub>N</sub> 2反応とE2反応の選択性を説明する。 6) Saytzeff則を説明する。(A-1-1-2)
6月21日	戸円 智幸	ユニット19：アルコールの構造と性質, 反応機構	1) アルコールの構造と性質を説明する。(A-1-1-2) 2) アルコールのIUPAC命名法を説明する。 3) 第1, 第2, 第3アルコールの酸化反応を説明する。(A-1-1-2) 4) カルボカチオンについて説明する。 5) アルコールの置換反応について説明する。 6) アルコールの脱離反応について説明する。
6月25日	戸円 智幸	ユニット20：アルケンの構造と性質および幾何異性体, アルキン	1) 不飽和炭化水素であるアルケンとアルキンの構造と性質について説明する。(A-1-1-2) 2) アルケンの二重結合の様式を説明する。(A-1-1-2) 3) アルケンとアルキンのIUPAC命名法を説明する。 4) Cahn-Ingold-Prelog 順位則を説明する。 5) アルケンの幾何異性体 E, Z表記を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SB0s)
6月28日	戸円 智幸	ユニット21：アルケンの反応機構	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 求電子試薬とアルケンの求電子付加反応について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>2) マルコフニコフ則について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>3) ハロゲン化水素の酸の強さについて説明する。</li> <li>4) アルケンの酸化的開裂反応について説明する。</li> </ol>
7月2日	戸円 智幸	ユニット22：カルボニル化合物の構造と性質	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) カルボニル化合物（アルデヒド、ケトン）の構造と性質を説明する。(A-1-1-2)</li> <li>2) 主なカルボニル化合物について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>3) アルデヒドのIUPAC命名法を説明する。</li> <li>4) ケトンのIUPAC命名法を説明する。</li> </ol>
7月5日	戸円 智幸	ユニット23：カルボニル化合物の反応機構	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) カルボニル基の共鳴構造について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>2) カルボニル基の極性について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>3) カルボニル化合物の求核付加反応を説明する。(A-1-1-2)</li> <li>4) Grignard（グリニャール）試薬について説明する。</li> <li>5) グリニャール反応について説明する。</li> </ol>
7月9日	戸円 智幸	ユニット24：カルボン酸の構造と性質、反応機構	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) カルボン酸の構造と性質を説明する。(A-1-1-2)</li> <li>2) 主なカルボニル化合物について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>3) カルボン酸のIUPAC命名法を説明する。</li> <li>4) カルボキシ基の電子構造と反応性の関係を説明する。(A-1-1-2)</li> <li>5) カルボン酸の酸性の強弱を構造から説明する。(A-1-1-2)</li> <li>6) 加酸性によるカルボン酸のp<i>K</i><sub>a</sub>値の計算を説明する。</li> </ol>
7月12日	戸円 智幸	ユニット25：アミンの構造と性質	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) アミンの構造と性質を説明する。(A-1-1-2)</li> <li>2) 主なアミン化合物について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>3) アミンのIUPAC命名法を説明する。</li> <li>4) アミンの塩基性の強弱について説明する。</li> <li>5) アミンの反応性について説明する。</li> </ol>
8月23日	戸円 智幸	ユニット26：エーテル、エステル、アミドの構造と性質	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) エーテル、エステル、アミドの構造と性質を説明する。(A-1-1-2)</li> <li>2) 主なエーテル、エステル、アミド化合物について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>3) エーテル、エステル、アミドのIUPAC命名法を説明する。</li> </ol>
8月27日	戸円 智幸	ユニット27：有機化合物の命名法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 主な有機化合物のIUPAC命名法についてまとめる。(A-1-1-1)</li> <li>2) 官能基の優先順位と接頭語、接尾語表記について説明する。</li> <li>3) 一般的に用いられる有機化合物の慣用名について説明する。</li> <li>4) CAS命名法について説明する。</li> </ol>
8月30日	戸円 智幸	ユニット28：有機化合物の反応機構	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 主な有機化合物の反応機構についてまとめる。(A-1-1-2)</li> <li>2) 求核置換反応・求電子置換反応について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>3) 求核脱離反応について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>4) 求核付加反応・求電子付加反応について説明する。(A-1-1-2)</li> </ol>

# 生物学実習

火曜日 13:10~16:20  
木曜日 13:10~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

教科書や講義だけでは理解しにくい生物体の構造や活動を、顕微鏡観察と解剖実験等により、細胞・組織・器官の各レベルで共通性・多様性をも含めて具体的に理解する。またこれらの過程を通じ、専門科目で要求される基礎力を培う。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
日本歯科大学大学生物学教室編	生物学実習書	新訂3版	ミツバ総合印刷

## 担当者一覧

豊田健介, 戸円智幸, 鈴木さつき, 石黒一美, 三橋扶佐子

## 学習方略

- 講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [--%]     論述試験 [--%]     口頭試験 [--%]     レポート [100%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 火・木曜日 16:30~18:00  
場所: 本館6階 自然科学研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月 9 11 日 日	豊田 健介	ユニット1: 顕微鏡操作と細胞の観察	1) 顕微鏡を正しく操作する。 2) 顕微鏡像の特性を識別する。 3) スケッチすべき対象の表現方法を習熟する。 4) 細胞の全体像を図示し, 各部の名称を記述する。 5) 生物画の描き方を習得する。
4月 16 18 日 日	豊田 健介	ユニット2: 細胞内含有物の観察 (1)	1) 一時プレパラートの作成方法を習熟する。 2) 徒手切片作成に習熟する。 3) 成熟した細胞に見られる後形質を図示する。 4) スケッチすべき対象の表現方法に配慮する。 5) 細胞の全体像を図示し, 各部の名称も記述する。
4月 23 25 日 日	豊田 健介	ユニット3: 細胞内含有物の観察 (2)	1) 一時プレパラートの作成に習熟する。 2) 各種色素体を識別し図示する。 3) 各種デンプン粒を図示する。 4) 各種結晶体・油滴を図示する。
5月 7 9 日 日	豊田 健介	ユニット4: 細胞分裂と染色体の観察	1) 植物の根端細胞の分裂過程を観察し, 図示する。 2) ユスリカの睡線染色体のプレパラートを作成し, 観察結果を図示する。
5月 14 16 日 日	豊田 健介	ユニット5: 細胞の生理	1) 原形質流動を観察・図示する。 2) 原形質の分離と復帰を観察し, 原因について説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
5月 21 23 日 日	豊田 健介	ユニット6：ウシガエルの解剖と観察－外部形態	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 動物材料に対する基本的心得を述べる。</li> <li>2) 解剖器具の使い分け，扱い方に習熟する。</li> <li>3) 体幹の各部位を観察・図示する。</li> <li>4) 体幹の各部位の名称を記入する。</li> <li>5) 材料の皮膚を剥離して骨格筋を露出させる。</li> </ol>
5月 28 30 日 日	豊田 健介	ユニット7：ウシガエルの解剖と観察－骨格筋	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 腹面から観察できるすべての骨格筋を図示するとともに名称を記入する。</li> <li>2) 背面から観察できるすべての骨格筋を図示する。</li> <li>3) 背面から観察できるすべての骨格筋の名称を記入する。</li> </ol>
6月 4 6 日 日	豊田 健介	ユニット8：ウシガエルの解剖と観察－心臓と肺	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 他臓器を損傷しないよう胸壁を切開し，心臓・肺を摘出する。</li> <li>2) 心臓の外面と内面の各部位を図示するとともに名称を記入する。</li> <li>3) 肺外面と内面の各部位を図示するとともに名称を記入する。</li> </ol>
6月 11 13 日 日	豊田 健介	ユニット9：ウシガエルの解剖と観察－消化，泌尿生殖器官	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 消化器官を以後使用する泌尿生殖器官と区別し，損傷させずに摘出する。</li> <li>2) 消化器官および泌尿生殖器官各部と付属器官，それらの位置関係を観察し，図示する。</li> <li>3) 消化器官および泌尿生殖器官各部と付属器官の名称を記入する。</li> </ol>
6月 18 20 日 日	豊田 健介	ユニット10：ウシガエルの解剖と観察－神経，骨格	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 可能な限りの中枢神経・骨・軟骨を区別し，個々の骨格を本来の位置関係に従って配置し，スケッチする。</li> </ol>
6月 25 27 日 日	豊田 健介	ユニット11：感覚閾値の測定	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) グラフの書き方を習熟する。</li> <li>2) レポートの書き方を習熟する。</li> </ol>
7月 2 4 日 日	豊田 健介	ユニット12：知覚刺激による自律神経の代謝の推測	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) カプサイシンにより知覚を刺激する。</li> <li>2) 感覚神経の刺激により起こる自律神経の反応を確認する。</li> <li>3) レポートの書き方を習熟する。</li> </ol>
7月 9 11 日 日	豊田 健介	ユニット13：ヒト血球の観察	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ヒト白血球とウシガエルの赤血球を観察する。</li> <li>2) 顕微鏡観察の習熟度を確認する。</li> </ol>
8月 27 29 日 日	豊田 健介	ユニット14：統括	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) これまでの実習全体を振り返り，その重要性を確認する。</li> </ol>



# スポーツ・健康学

火曜日 13:10~16:20  
木曜日 13:10~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

各種体育・スポーツの実践を通して、体を動かす意味、意義や自己の体の特性を理解するとともに、集団で運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。  
また、社会における体育・スポーツの意義や必要性を理解することで、生涯スポーツに関する理解と実践力を身につける。  
更に、社会性を涵養し、歯科医師としての豊かな人間形成をはかる。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

	適時資料の配布		
--	---------	--	--

## 担当者一覧

中田賢一, 野口泰子, 皆川なほ子, 吉澤幸花, 田島勇人

## 学習方略

- 講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験     論述試験     口頭試験     レポート     ポートフォリオ     シミュレーションテスト  
 実施試験     観察記録[100%]     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( )

## オフィスアワー

日時: 授業実施日の毎週火・木曜日授業終了後 (16:20~16:50)

場所: 体育館3階体育教員室もしくは本館1階教務・学生部

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月 9 11 日 日	中田 賢一	ユニット1: 大学教育と体育・スポーツ学	1) 体育科教育と大学体育教育について説明する。 2) 体育学の学術体系や方法論を説明する。 3) 余暇活動と体育・スポーツを説明する。
運動に適した服装で体育館に集合すること。(次回以降も同様)			
4月 16 18 日 日	中田 賢一	ユニット2: ドッジビー①	1) ニュースポーツの有効性を説明する。 2) ディスクの投法と安全性を説明する。 3) 基本的なルールを説明する。
4月 22 25 日 日	中田 賢一	ユニット3: ドッジビー②	1) 安全なプレイスタイルを説明する。 2) 円滑なリーグ戦を説明する。 3) リーグ戦の運営を説明する。
5月 7 9 日 日	中田 賢一	ユニット4: インディアカ①	1) ボール感覚, コート感覚, 安全を説明する。 2) 基本的な打法を説明する。 3) ルール・ゲームの展開方法を説明する。
5月 14 16 日 日	中田 賢一	ユニット5: インディアカ②	1) 場面に応じた打法を説明する。 2) チームの特性を生かしたゲーム展開を説明する。 3) リーグ戦の運営方法を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月 21 23 日 日	中田 賢一	ユニット6：卓球①	1) ボール感覚，テーブル感覚，安全面を説明する。 2) ラリーの方法を説明する。 3) ゲームの展開方法を説明する。
5月 28 30 日 日	中田 賢一	ユニット7：卓球②	1) 基本的なルールを説明する。 2) 特性に応じたゲーム展開を説明する。 3) リーグ戦の各種方法論を説明する。
6月 4 6 日 日	中田 賢一	ユニット8：バドミントン①	1) シャトル感覚，コート感覚，安全面を説明する。 2) ストロークの方法を説明する。 3) ゲームの展開方法を説明する。
6月 11 13 日 日	中田 賢一	ユニット9：バドミントン②	1) ダブルスの戦略を説明する。 2) 特性に応じたゲームの展開を説明する。 3) リーグ戦の各種方法論を説明する。
6月 18 20 日 日	中田 賢一	ユニット10：スポーツストレッチ①	1) 筋の柔軟性について説明する。 2) ストレッチの有効性を説明する。 3) けがの予防とストレッチとの関係を説明する。
6月 25 27 日 日	中田 賢一	ユニット11：スポーツストレッチ②	1) スポーツとストレッチの関係を説明する。 2) 競技特性とストレッチの関係を説明する。 3) セルフ・ペアでのストレッチングプログラムを説明する。
7月 2 4 日 日	中田 賢一	ユニット12 スポーツと測定①	1) 体力測定の概観を説明する。 2) 測定の意味と意義を説明する。 3) 測定結果で導かれる実際を説明する。
7月 9 11 日 日	中田 賢一	ユニット13：スポーツと測定②	1) 測定項目の内容を説明する。 2) 負荷をかけた測定を説明する。 3) 測定結果の検証，考察の方法を説明する。
8月 27 29 日 日	中田 賢一	ユニット14：救急法実技	1) 医学・歯学・体育学の関係を説明する。 2) 一次救命処置(basic life support <BLS>)を説明する。 3) 心肺蘇生の方法を説明する。

## 本学期的学習目標 (GIO)

国語（日本語）は、社会生活の基本であるコミュニケーションを成立させるものであり、あらゆる知的活動の基盤をなすものである。また、社会における様々な環境や変化に応じた国語力も求められる。この観点から、国語（日本語）の特徴や正しい運用法を理解しながら、将来の歯科医師として、また、責任ある社会人として必要な国語の表現力を修得する。前学期は、主に基礎力の養成に主眼を置く。

## 教科書・参考書

著者・編集 書名 版 出版社

毎回、プリントを配布する。  
※参考書等は随時指示する。

## 担当者一覧

小原佳那子

## 学習方略

- 講義     示説（デモンストレーション）     グループワーク（PBL, TBLを含む）     実習  
 その他（問題演習・演習時の発表）

## 成績評価（比率は概算であり若干の変更が行われます）

- 客観試験 [35%]     論述試験 [45%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む） [減点式]     その他（課題, リアクションペーパー [20%]）

## オフィスアワー

日時：授業終了後  
場所：授業後の教室・本館1階非常勤講師控室

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月10日	小原佳那子	ユニット1：日本語の特徴1	1) 日本語の言語学上の分類を説明する。 (C-1-3)-4, (D-2-1-1)-1, (E-2-1-1)-1, 2, (E-2-1-2)-1, 2) 2) 日本語の表現の特徴を説明する。 (C-1-3)-4, (D-2-1-1)-1, (E-2-1-1)-1, 2, (E-2-1-2)-1, 2) 3) 日本語の運用上の問題点を説明する。 (C-1-3)-4, (D-2-1-1)-1, (E-2-1-1)-1, 2, (E-2-1-2)-1, 2)
4月17日	小原佳那子	ユニット2：日本語の特徴2	1) 日本語の言語学上の分類を説明する。 (C-1-3)-4, (D-2-1-1)-1, (E-2-1-1)-1, 2, (E-2-1-2)-1, 2) 2) 日本語の表現の特徴を説明する。 (C-1-3)-4, (D-2-1-1)-1, (E-2-1-1)-1, 2, (E-2-1-2)-1, 2) 3) 日本語の運用上の問題点を説明する。 (C-1-3)-4, (D-2-1-1)-1, (E-2-1-1)-1, 2, (E-2-1-2)-1, 2)
4月24日	小原佳那子	ユニット3：日本語の特徴3	1) 日本語の言語学上の分類を説明する。 (C-1-3)-4, (D-2-1-1)-1, (E-2-1-1)-1, 2, (E-2-1-2)-1, 2) 2) 日本語の表現の特徴を説明する。 (C-1-3)-4, (D-2-1-1)-1, (E-2-1-1)-1, 2, (E-2-1-2)-1, 2) 3) 日本語の運用上の問題点を説明する。 (C-1-3)-4, (D-2-1-1)-1, (E-2-1-1)-1, 2, (E-2-1-2)-1, 2)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月8日	小原佳那子	ユニット4：敬語表現1	1) 待遇表現について説明する。 (C-1-3)-4, (D-2-1-1)-1, (D-2-1-2)-3, (E-2-1-1)-1, 2, (E-2-1-2)-1, 2, 3) 2) 敬語の種類（尊敬語・謙譲語・丁寧語）について説明する。(C-1-3)-4, (D-2-1-1)-1, (D-2-1-2)-3, (E-2-1-1)-1, 2, (E-2-1-2)-1, 2, 3)
5月15日	小原佳那子	ユニット5：敬語表現2	1) 待遇表現について説明する。 (C-1-3)-4, (D-2-1-1)-1, (D-2-1-2)-3, (E-2-1-1)-1, 2, (E-2-1-2)-1, 2, 3) 2) 敬語の種類（尊敬語・謙譲語・丁寧語）について説明する。(C-1-3)-4, (D-2-1-1)-1, (D-2-1-2)-3, (E-2-1-1)-1, 2, (E-2-1-2)-1, 2, 3)
5月22日	小原佳那子	ユニット6：敬語表現3	1) 様々な環境における敬語の運用（尊敬語・謙譲語・丁寧語）について説明する。(C-1-2)-3, (D-2-1-1)-1, (D-2-1-2)-3, (E-2-1-1)-1, 2, (E-2-1-2)-1, 2, 3, (E-5-6)) 2) 敬語の誤用について説明する。(D-2-1-1)-1, (D-2-1-2)-3, (E-2-1-1)-2, (E-2-1-2)-1, 2 (E-5)-6, (E-5)-7-2)
5月29日	小原佳那子	ユニット7：敬語表現4	1) 様々な環境における敬語の運用（尊敬語・謙譲語・丁寧語）について説明する。(C-1-2)-3, (D-2-1-1)-1, (D-2-1-2)-3, (E-2-1-1)-1, 2, (E-2-1-2)-1, 2, 3, (E-5-6)) 2) 敬語の誤用について説明する。(D-2-1-1)-1, (D-2-1-2)-3, (E-2-1-1)-2, (E-2-1-2)-1, 2 (E-5)-6, (E-5)-7-2)
6月5日	小原佳那子	ユニット8：メール・手紙の作成演習	1) 様々なメールの作成方法を説明する。 (C-1-2)-3, (D-2-1-1)-1, (D-2-1-2)-3, (E-2-1-1)-1) 2) 手紙の作成方法を説明する。(C-1-2)-3, (D-2-1-1)-1, (D-2-1-2)-3, (E-2-1-1)-1)
6月12日	小原佳那子	ユニット9：日本語リテラシー	1) 日本語の文章読解の際の注意点を説明する。 (C-2)-1, (D-2-1-1)-1, (D-2-1-2)-3) 2) 日本語の文章記述の際の注意点を説明する。 (C-2)-1, (D-2-1-1)-1, (D-2-1-2)-3) 3) 日本語の文章読解の実際を説明する。 (C-2)-1, (D-2-1-1)-1, (D-2-1-2)-3) 4) 日本語の文章記述の実際を説明する。 (C-2)-1, (D-2-1-1)-1, (D-2-1-2)-3)
6月19日	小原佳那子	ユニット10：文章要約の基礎演習1	1) 文章要約の実際の例を説明する。(C-2)-1, 3, 4, (E-2-1-1)-3, 5) 2) 文章要約に必要な技術を説明する。 (C-2)-1, 3, 4, (E-2-1-1)-3, 5)
6月26日	小原佳那子	ユニット11：文章要約の基礎演習2	1) 文章要約の実際の例を説明する。(C-2)-1, 3, 4, (E-2-1-1)-3, 5) 2) 文章要約に必要な技術を説明する。 (C-2)-1, 3, 4, (E-2-1-1)-3, 5)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
7月3日	小原佳那子	ユニット12：文章作成の基礎演習1	1) 優れた客観的文章の例を説明する。(C-2)-1, 6, (E-2-1-1)-1, 5, 8) 2) 客観的文章の書き方を説明する。(C-2)-1, 6, (E-2-1-1)-1, 5, 8)
7月10日	小原佳那子	ユニット13：文章作成の基礎演習2	1) 優れた客観的文章の例を説明する。(C-2)-1, 6, (E-2-1-1)-1, 5, 8) 2) 客観的文章の書き方を説明する。(C-2)-1, 6, (E-2-1-1)-1, 5, 8)
8月28日	小原佳那子	ユニット14：国語表現総括	1) これまでの学習内容を確認し、現代社会において国語を適切に運用し表現するための知識を整理して説明する。(C-1-2)-3, (C-2)-1, 3, 4, 6, (D-2-1-1)-1, (D-2-1-2)-3, (E-2-1-1)-1, 2, (E-2-1-2)-1, 2, 3, (E-5)-6, (E-5-7)-2)



# 生物学

水曜日 10:40~12:10  
金曜日 14:50~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

本講義の前半では、生体の基本単位である細胞の内部構造や構成する物質について学習する。続いて代謝、遺伝、セントラルドグマや細胞分裂などの生命現象についてミクロのレベルで学んでいく。後半では生殖と個体の発生に始まり、組織や器官について概略を学び、個体レベルで生物を時空間的、統合的に理解する。本講義では医療を目指すものが、高学年で基礎歯学を学ぶ際に必要となる生命科学の最低限の知識を修得することを目標とする。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
南雲 保 他	やさしい基礎生物学	改訂2版	羊土社
田村 隆明 著	医療・看護系のための生物学	改訂版	裳華房
白戸亮吉 他	生理学・生化学につながるていねいな生物学	初版	羊土社

## 担当者一覧

堀江哲郎, 堀江朋子

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [50%]       論述試験 [20%]       口頭試験       レポート [10%]  
 ポートフォリオ       シミュレーションテスト       実地試験       観察記録  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (中間試験) [20%]

## オフィスアワー

日時: 水曜日 16:30~18:00  
場所: 本館5階 衛生学研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月10日	堀江 哲郎	ユニット1: イントロダクション 生命の特徴と分類	1) 生物がもつ特徴について説明する。(C-2-3)-① 2) 生物を分類する方法について理解する。 3) 二名法について説明する。 4) 生命の起源の過程を説明する。
4月12日	堀江 哲郎	ユニット2: 細胞の構造(1)	1) 生体は細胞によって構成されることを理解する。 2) 細胞の基本構造について説明する。 3) 真核細胞と原核細胞の特徴について説明する。(C-2-3)-① 4) 細胞小器官 (オルガネラ) を列挙する。(C-2-3)-① 5) その他の細胞内構造体について説明する。
4月17日	堀江 哲郎	ユニット3: 細胞の構造(2)	1) 細胞膜について説明する。 2) トランスポーターについて説明する。 3) 植物細胞の細胞内構造について説明する。
4月19日	堀江 哲郎	ユニット4: 細胞の構造(3)	1) 細胞骨格の種類について列挙する。 2) 細胞運動と細胞骨格の関係について説明する。 3) 発展学習: タンパク質の成熟, 輸送, 分解について説明する。 4) グループワーク: 細胞の構造について①
4月24日	堀江 哲郎	ユニット5: 生命体を構成する物質(1)	1) 物質の構成単位について概論する。 2) 水の特徴と, 生命における水の役割を説明する。 3) 細胞をつくる主要な元素を説明する。(C-2-1)-② 4) 生体物質の分類と性質について説明する。 5) 生体物質としての糖及び脂質を列挙する。(C-2-1)-②

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月26日	堀江 哲郎	ユニット6：生命体を構成する物質(2)	1) タンパク質とアミノ酸について概説する。(C-2-1)-②) 2) タンパク質の構造について説明する。 3) 核酸とヌクレオチドについて説明する。 4) DNAとRNAの構造について説明する。
5月8日	堀江 朋子	ユニット7：栄養と代謝(1)	1) 栄養素を列挙し、栄養素の消化を説明する。 2) 異化と同化について説明する。 3) エネルギー通貨としてのATPについて理解する。 4) 生命の化学反応としての酵素の役割を概説する。 5) 酵素の特異性と反応機構を理解する。(C-2-1)-②)
5月10日	堀江 朋子	ユニット8：栄養と代謝(2)	1) 解糖系とクエン酸回路について説明する。 2) 酸化リン酸化によるATP合成について説明する。 3) 脂質の分解について説明する。 4) 好気呼吸と嫌気呼吸について説明する。
5月15日	堀江 朋子	ユニット9：栄養と代謝(3)	1) 糖新生経路、ペントールリン酸回路、ヌクレオチド代謝について説明する。 2) 窒素代謝について説明する。 3) 光合成について説明する。 4) グループワーク：栄養と代謝について②
5月17日	堀江 哲郎	ユニット10：遺伝とDNA(1)	1) 遺伝と遺伝子の構成について概論する。 2) 遺伝の法則について説明する(メンデル)。 3) 様々な遺伝様式について列挙する。 4) DNAが遺伝物質の本体であることを説明する。
5月22日	堀江 哲郎	ユニット11：遺伝とDNA(2)	1) 遺伝子と染色体の関係について説明する。 2) 染色体の構造について説明する。 3) DNAの複製について理解する。 4) 突然変異について説明する。 5) DNAの修復と組み換えについて理解する。
5月29日	堀江 哲郎	ユニット12：遺伝情報の発現(1)	1) セントラルドグマについて説明する。(C-2-2)-③) 2) 転写：RNA合成の仕組みについて説明する。(C-2-2)-③) 3) RNAの種類と役割について説明する。(C-2-2)-③) 4) 転写の調節機構について説明する。(C-2-2)-③) 5) RNAプロセッシングについて理解する。(C-2-2)-③)
5月31日	堀江 哲郎	ユニット13：遺伝情報の発現(2)	1) 翻訳：タンパク質合成について説明する。 2) 遺伝暗号について理解する。 3) リボソームのタンパク質合成機構を理解する。 4) グループワーク：遺伝と遺伝情報の発現について③
6月5日	堀江 哲郎	ユニット14：小括 [中間試験予定]	1) これまでの授業をふり返り、学習した内容を再確認する。
6月7日	堀江 哲郎	ユニット15：細胞の増殖と死(1)	1) ヒトのおもな分裂組織を列挙する。(C-2-3)-③) 2) 細胞分裂の周期性について理解する。 3) 細胞周期の調節機構について説明する。 4) 体細胞分裂について説明する。(C-2-3)-③)
6月12日	堀江 哲郎	ユニット16：細胞の増殖と死(2)	1) 減数分裂について説明する。 2) 減数分裂の経過と染色体に見られる変化や動き、その機序を説明する。(C-2-3)-③) 3) 体細胞分裂と異なる理由を説明する。(C-2-3)-③)



授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
6月14日	堀江 哲郎	ユニット17：細胞の増殖と死(3)	1) 細胞死について概論する。 2) アポトーシスとその意義を説明する。(C-2-3)-④ 3) アポトーシスの過程を説明する。(C-2-3)-④ 4) アポトーシスとネクローシスの関係を説明する。(C-2-3)-④
6月19日	堀江 哲郎	ユニット18：生殖と発生(1)	1) 有性生殖と無性生殖の特徴について述べる。 2) 動物の発生：受精機構について説明する。 3) 胚形成について説明する。 4) 三胚葉から形成される組織と器官を説明する。
6月21日	堀江 哲郎	ユニット19：生殖と発生(2)	1) 体節決定遺伝子について説明する。 2) グループワーク：細胞周期と生殖と発生について④
6月26日	堀江 哲郎	ユニット20：動物の組織	1) 4種類の動物組織の特徴について説明する。 2) 上皮組織について説明する。 3) 結合組織について説明する。 4) 筋組織について説明する。 5) 血液について説明する。
6月28日	堀江 哲郎	ユニット21：動物の器官 —消化系-排出系	1) ヒトの消化吸収系を類別する。 2) 消化器官の形態と機能分担を説明する。 3) 排出器官の基本構成を説明する。
7月3日	堀江 哲郎	ユニット22：動物の器官 —呼吸系-循環系	1) 呼吸の定義と意義を説明する。 2) 呼吸器を類別し、共通点を指摘する。 3) 脊椎動物の血管系について、その基本構成を動物の分類群ごとに説明する。 4) 哺乳類の心臓の構造と活動を概説する。
7月5日	堀江 哲郎	ユニット23：動物の器官 —感覚系-筋肉系	1) 刺激から反応までの一般的な経過と意義を述べる。(C-2-3)-③ 2) おもな感覚器の作用機構を説明する。 3) 反応の種類と対応する器官の構造・活動を説明する。
7月10日	堀江 朋子	ユニット24：ホルモンと生体調節(1)	1) ホルモンについて概説する。(C-2-4)-② 2) 各内分泌器官から分泌されるホルモンを列挙する。(C-2-4)-② 3) ホルモン分泌の調整を説明する。(C-2-4)-②
7月12日	堀江 朋子	ユニット25：ホルモンと生体調節(2)	1) 恒常性維持におけるホルモンの役割を概説する。 2) 塩分と水分、カルシウム、糖の血中濃度、血圧について、ホルモンによる調節機序を説明する。 3) 細胞内シグナル伝達機構について概説する。
8月23日	堀江 哲郎	ユニット26：神経系(1)	1) ヒトの神経系の構成要素を列挙する。 2) 脳の基本構造と分類群ごとの特徴を説明する。 3) 末梢神経系と神経伝達について説明する。
8月28日	堀江 哲郎	ユニット27：神経系(2)	1) ニューロンを図示し各部の機能分担を説明する。 2) ニューロンを類別し、それぞれのおもな神経系の部位を示す。 3) 神経伝達物質を類別し、役割を説明する。
8月30日	堀江 哲郎	ユニット28：総括	1) 授業全体をふり返り、学習した内容を復習し、確認する。



# 学習法基本概論

水曜日 13:10~14:40

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医学の基礎・専門的学習および生涯学習を円滑かつ確実に遂行するために、協同学習の理念と学習方法を理解するとともに、聴く・読む、物事の関連づけ、発想法、ノート・テイキング、プレゼンテーション、クリティカルシンキング、およびロジカルライティング等の基本的なスタディ・スキル能力を身につけ、今後の学習習慣の基礎を確立する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

林 創, 平山るみ 編集

クリティカルシンキング・ロジカルライティング

第8版

ベネッセ i-キャリア

## 担当者一覧

田谷雄二, 長田敬五

## 学習方略

- 講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 (事前学習 )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [--%]     論述試験 [--%]     口頭試験 [--%]     レポート(提出物) [50%]     ポートフォリオ [--%]  
 シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録(グループ討論) [50%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 (不適切な行為) [減点式]

## オフィスアワー

日時: 金曜日 16:30~18:00

場所: 本館6階 病理学研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月10日	田谷 雄二	ユニット1: ガイダンス	1) 本授業の目的を列挙する。(PR-04, LL-01) 2) 今後6年間の学習スケジュールを立案する。(PR-04, LL-01) 3) 小グループでの学習法を説明する。(CM-04)
4月17日	田谷 雄二	ユニット2: ノート・テイキング	1) 話の要点やキーワードを列挙する。(PS-12) 2) 話の内容をノートにまとめる。(CM-02) 3) 見やすいノートを作成する。(CM-02)
4月24日	田谷 雄二	ユニット3: 協同学習の方法 (1)	1) シンク・ペア・シェア法とラウンドロビン法を用いて意見をまとめる。(CM-02) 2) 相互に助け合い, 積極的に交流する。(CM-04) 3) 自分と仲間に対する責任を果たす。(PR-01) 4) 学習活動の自己および他者評価をする。(PR-04)
5月8日	田谷 雄二	ユニット4: 協同学習の方法 (2)	1) ジグソー法を用いて問題を解決する。(RE-03) 2) 相互に助け合い, 積極的に交流する。(CM-04) 3) 自分と仲間に対する責任を果たす。(PR-01) 4) 学習活動の自己および他者評価をする。(PR-04)
5月15日	田谷 雄二	ユニット5: 協同学習の方法 (3)	1) ジグソー法を用いて解答を確認する。(RE-03) 2) 相互に助け合い, 積極的に交流する。(CM-04) 3) 自分と仲間に対する責任を果たす。(PR-01) 4) 学習活動の自己および他者評価をする。(PR-04)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月22日	長田 敬五 田谷 雄二	ユニット6：ビジュアルリテラシー（看图を読む）	1) ビジュアルテキストの要素を列挙する。(PS-12) 2) ビジュアルテキストの構成要素を相互に関連づける。(PS-12) 3) ビジュアルテキストから発想や推察をする。(PS-12)
5月29日	田谷 雄二	ユニット7：議論の明確化	1) 主張や根拠を示す語句・接続詞を列挙する。(RE-05) 2) 主張（または結論）を明確にする。(RE-05) 3) 根拠（または理由）を明確にする。(RE-05) 4) 協同学習のスキルを実践する。(CM-04)
6月5日	田谷 雄二	ユニット8：隠れた前提	1) 根拠と主張の間に飛躍がないか、検討する。(RE-05) 2) 主張を支持するために必要な前提を列挙する。(RE-05) 3) 主張を支持するための価値観を列挙する。(RE-05) 4) 協同学習のスキルを実践する。(CM-04)
6月12日	田谷 雄二	ユニット9：根拠の確かさ	1) 根拠が「事実」か「意見」かを指摘する。(RE-05) 2) 比較対照群の有無を指摘する。(RE-05) 3) 調査対象数の妥当性について確認する。(RE-05) 4) 影響の可能性のある他の要因を指摘する。(RE-05) 5) 協同学習のスキルを実践する。(CM-04)
6月19日	田谷 雄二	ユニット10：ロジカルライティング（1）	1) ロジカルライティングの要素を列挙する。(RE-05) 2) ロジライトライアングルに従って文章を作成する。(RE-05) 3) 作成した文章を評価し、対応策を記述する。(LL-05)
6月26日	田谷 雄二	ユニット11：ロジカルライティング（2）	1) ロジライチャートに主張・意見を記入する。(RE-05) 2) 根拠をロジライチャートに列挙する。(RE-05) 3) 主張・意見を根拠が支えるように整理する。(RE-05) 4) ロジライトライアングルに従って文章を作成する。(RE-05) 5) グループで文章をチェックし討議する。(LL-05)
7月3日	田谷 雄二	ユニット12：LTD（1）	1) LTD（話し合い学習法）の学び方を習得する。(CM-04) 2) 少人数のグループで互恵的関係を構築する。(CM-04) 3) 自己学習とグループ討論を通して知識の関連づけと定着を図る。(CM-04)
7月10日	田谷 雄二	ユニット13：LTD（2）	1) LTD（話し合い学習法）の学び方を習得する。(CM-04) 2) 少人数のグループで互恵的関係を構築する。(CM-04) 3) 自己学習とグループ討論を通して知識の関連づけと定着を図る。(CM-04) 4) ジグソー法を用いて解答を確認する。(CM-04)
8月28日	田谷 雄二	ユニット14：総括	1) グループでメンバーの文章をチェックし、意見を交換する。(LL-05) 2) 授業全体をふり返り、自己評価をする。(PR-04, PR-06, LL-01, LL-04) 3) 学習法と評価法を考察する。(RE-1, PS-12)

# 歯科医療情報学実習

水曜日 14:50~18:00

## 本学期的学習目標 (GIO)

生涯にわたって良質の歯科医療を提供するために、ICT (Information and Communication Technology) を活用して最新の医療情報を収集・分析・評価する方法、およびモラルに則って効果的に利用する技術や表現方法を含む能力を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

石原正雄	スクラッチドリルブック	1版	カットシステム
------	-------------	----	---------

## 担当者一覧

安藤文人, 青柳有祐, 浅海利恵子, 新井一仁, 井坂栄作, 石川結子, 加藤雄一, 河合泰輔, 甲田彩理沙, 小谷田貴之, 塩谷伊毅, 菅井健一, 清野 陸, 高橋幸裕, 田代有美子, 辻本源太郎, 土持 宇, 戸村香文, 能勢春奈, 前田祐貴, 三浦大輔, 山瀬 勝, 山中 幸

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [--%]     論述試験 [--%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [16%]     観察記録 [5%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [--%]     その他 (各ユニットの課題 [79%])

## オフィスアワー

日時: 水曜日 12:45  
 場所: 100周年記念館 3階 パソコンルーム  
 担当者が実習中に告知する場合もあるので注意すること。

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月10日	安藤 文人	ユニット1: Google Workspace/Moodleの利用法	1) 公用メールを送受信できる。 2) CC, BCCを利用できる。 3) Moodleの機能を利用できる。 4) タッチタイプを実践する。
	安藤 文人	ユニット2: ICTを用いた遠隔共同作業の試行/タッチタイプ(1)	1) ZOOMでテレビ会議ができる。(PR-06) 2) ZOOMで画面共有ができる。(PR-06) 3) Googleドキュメントで共同作業ができる。(PR-06)
4月17日	山瀬 勝	ユニット3: 情報倫理・教育著作権 (e-learning)	1) 情報倫理に配慮する。(IT-01) 2) 著作権に関するルールを知る。(IT-01) 3) 情報を保存する上で著作権に配慮する。
	能勢 春奈	ユニット4: 図書館の利用法(1: 図書館利用法講義)/タッチタイプ(2)	1) 図書館を利用する。(RE-05)
4月24日	能勢 春奈	ユニット5: 図書館の利用法(2: データベース演習 3: 図書館実習)	1) 図書館を利用する。(RE-05)
	安藤 文人	ユニット6: ヴィジュアルプログラミング(1)/タッチタイプ(3)	1) 実習書を見ながらチャレンジ1~5の課題をできる。 2) ヴィジュアルプログラミングの指定課題をできる。 3) タッチタイプを実践する。
5月8日	戸村 香文	ユニット7: 図書館の利用法(4: 図書館実習)	1) 図書館を利用する。(RE-05)
	三浦 大輔	ユニット8: ヴィジュアルプログラミング(2)/タッチタイプ(4)	1) 実習書を見ながらチャレンジ6~10の課題をできる。 2) ヴィジュアルプログラミングの指定課題をできる。 3) タッチタイプを実践する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5 月 15 日	菅井 健一	ユニット9：図書館の利用法(5：図書館 実習)	1) 図書館を利用する。(RE-05)
	田代有美子	ユニット10：ヴィジュアルプログラミング(3)／タッチタイプ(5)	1) 実習書を見ながらチャレンジ11～16の課題をできる。 2) ヴィジュアルプログラミングの指定課題をできる。 3) タッチタイプを実践する。
5 月 22 日	清野 陸	ユニット11：図書館の利用法(6：図書館 実習)	1) 図書館を利用する。(RE-05)
	塩谷 伊毅	ユニット12：ヴィジュアルプログラミング(4)／タッチタイプ(6)	1) 実習書を見ながらチャレンジ17～20の課題をできる。 2) ヴィジュアルプログラミングの指定課題をできる。 3) タッチタイプを実践する。
5 月 29 日	能勢 春奈	ユニット13：図書館の利用法(7：図書館 講義)	1) 図書館を利用する。(RE-05)
6 月 5 日	加藤 雄一	ユニット14：ヴィジュアルプログラミング(5)／タッチタイプ(7)	1) 実習書を見ながらチャレンジ21～24の課題をできる。 2) ヴィジュアルプログラミングの指定課題をできる。 3) タッチタイプを実践する。
6 月 12 日	田代有美子	ユニット15：ヴィジュアルプログラミング(6)／タッチタイプ(8)	1) タッチタイプを実践する。 2) ヴィジュアルプログラミングの発表作品を制作する。
6 月 19 日	青柳 有祐	ユニット16：画像処理の基礎	1) 画像の解像度、サイズについて説明する。 2) 画像リタッチソフトのコマンドを列記する。 3) 画像リタッチの技術を応用する。 4) 画像ファイルの形式を説明する。 5) 撮影した画像を適切にトリミングし、画像の明るさ・コントラスト・色合いを調整する。
	加藤 雄一	ユニット17：デザインと情報／タッチタイプ(9)	1) 歯科医療に適したデザインについて説明する。 2) タッチタイプを実践する。
6 月 26 日	三浦 大輔	ユニット18：動画コンテンツ作成／タッチタイプ(10)	1) 動画編集ソフトを用いた編集技術を応用する。 2) 編集した動画をインターネット上にアップロードする。
7 月 3 日	浅海利恵子	ユニット19：プレゼンテーションスライドの作成(1)	1) 文字や画像を入力し、書式を設定する。 2) 図形を作成する。 3) アニメーション効果を設定する。
	土持 宇	ユニット20：プレゼンテーションスライドの作成(2)／タッチタイプ(11)	1) 必要な情報を収集し図表を作成する。 2) テーマに沿ったプレゼンテーションスライドを作成する。
7 月 10 日	安藤 文人	ユニット21：実習試験	1) 手元を見ないで、入力速度80文字／分以上でタッチタイプができる。
	三浦 大輔	ユニット22：ヴィジュアルプログラミング発表	1) あらかじめ推薦された学生が自身の作成したヴィジュアルプログラミングを説明する。
8 月 28 日	高橋 幸裕	ユニット23：プレゼンテーションの実践	1) プレゼンテーションを行う。 2) プレゼンテーションを評価する。 3) タッチタイプを実践する。

# 生命歯学概論

木曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

生命歯学学習の意義を理解するために、歯学生として歯科医学の流れを学び、健康に暮らしていくための口腔の重要性を知る。さらに今後、臨床系科目を十分に理解するための教養・基礎系科目学習の重要性も認識する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

	各講義時の配付資料		
--	-----------	--	--

## 担当者一覧

新谷明一, 沼部幸博, 中原 貴, 合場千佳子, 石垣佳希, 代田あづさ, 五味治徳, 石川明子, 梅津糸由子, 澁井武夫, 栃木啓佑, 赤間亮一, 大島克郎, 柳下寿郎, 菊池憲一郎

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [60%]       論述試験 [30%]       口頭試験       レポート  
 ポートフォリオ       シミュレーションテスト       実地試験       観察記録  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席, 服装, 頭髪, 髪の色を含む) [減点式]       その他 (プレ・ポストテスト [10%])

## オフィスアワー

日時: 講義終了後~10:40  
 場所: 141講堂

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月11日	沼部 幸博	ユニット1: 喫煙と歯科医師	1) 喫煙の全身に与える影響を列記する。(E-5-2-6) 2) 喫煙の口腔領域に与える影響を述べる。(E-5-2-6) 3) 喫煙に対する歯科医師の立場を述べる。(E-5-2-6) 4) 禁煙支援の方法を説明する。(E-5-2-6)
4月18日	中原 貴	ユニット2: 再生医療と歯の細胞バンク	1) 再生医療の意味を述べる。(RE-02, A-5-3-1) 2) 歯の幹細胞の特徴と応用法を説明する。(RE-02, RE-03, A-2-1-5, A-5-3-1) 3) 歯の細胞バンクの概要と意義を述べる。(RE-03) 4) 生命歯学に立脚した未来の歯科医療を予測する。(PR-01, PR-02, RE-03, RE-04, RE-05) 5) 生命歯学の実践にむけて、本学の学生が担うべき価値を知る。(PR-01, PR-02, RE-01, RE-03, RE-04)
4月25日	合場千佳子	ユニット3: 歯科衛生士の役割	1) 歯科衛生士の役割分担を説明する。(C-1-3-2) 2) 保健, 医療, 福祉, 介護との連携を述べる。(C-1-3-3) 3) 歯科衛生士が担う口腔健康管理について述べる。(D-6-2-1)
5月9日	石垣 佳希	ユニット4: これからの歯科医師像	1) 口腔の健康について列記する。(CS-01) 2) 全身と口腔の健康の関係を述べる。(CS-01) 3) 歯科医業について述べる。(PR-01) 4) 歯科医師の理想像を描く。(LL-01)
5月16日	代田あづさ	ユニット5: マタニティ歯科って?	1) 妊産婦の特徴を理解しながら歯科疾患の症状について説明する。(D-2-1-1-2, D-2-3-8) 2) 妊産婦への歯科的対応を説明する。(D-2-4-1~3)
5月23日	五味 治徳	ユニット6: スポーツマウスガード	1) スポーツマウスガードとは何かを説明する。(D-5-1-7) 2) スポーツ外傷とスポーツ障害について説明する。(C-5-7, D-3-1-2-1) 3) スポーツマウスガードの製作方法を述べる。(B-3-4)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月30日	石川 明子	ユニット7：白い歯って？	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 白い歯とは何かを説明する。(D-5-2-1-1)</li> <li>2) 歯を白くする方法について具体的に述べる。(D-5-2-2-6)</li> <li>3) 白い歯が与える心理的効果について説明する。(GE-04)</li> <li>4) 最新ホワイトニング情報について述べる。(E-5-3-1-8)</li> </ul>
6月6日	梅津糸由子	ユニット8：子どもの歯って？	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 小児の成長・発達を説明する。(A-2-2-2)</li> <li>2) 小児の歯の萌出について説明する。(E-2-2)</li> <li>3) 小児の齲蝕の特徴を説明する。(D-5-6-1)</li> <li>4) 小児の齲蝕の影響について説明する。(D-5-6-1)</li> <li>5) 小児の齲蝕の予防法について説明する。(E-5-5-2)</li> <li>6) 小児患者の歯科的対応法を説明する。(E-5-5-7)</li> </ul>
6月13日	澁井 武夫	ユニット9：口の中のがん	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 口腔の構造と機能を述べる。(A-3-3)-1, 2, 3)</li> <li>2) 腫瘍の病態・治療法を説明する。(A-5-6)-1, 2, 4)</li> <li>3) 口腔がんによる機能障害を説明する。(D-3-1-6-3)</li> <li>4) インフォームド・コンセントについて説明する。(D-4-3-1)</li> <li>5) 患者背景をふまえた治療計画の立案を理解する。(E-4-2-2)</li> </ul>
6月20日	栃木 啓佑	ユニット10：矯正歯科治療とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 矯正歯科治療の必要性を述べる。(D-5-5-1)</li> <li>2) 不正咬合とその治療法について説明する。(D-5-5-2, 3)</li> <li>3) 矯正歯科治療の流れを説明する。(D-5-5-3)</li> </ul>
6月27日	赤間 亮一	ユニット11：歯科技工とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科技工士の業務を説明する。(C-1-3-2, D-6-2-2)</li> <li>2) 補綴物のトレーサビリティを説明する。(B-3-1, 4, C-3-1-3)</li> <li>3) 歯科技工と口腔の審美性について述べる。(B-2-1, 2, 4, 6)</li> <li>4) デジタルを活用した歯科技工について述べる。(B-3-1, 4, D-6-2-2)</li> </ul>
7月4日	大島 克郎	ユニット12：医療保障制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) ユニバーサルヘルスカバレッジを説明する。(C-7-4)</li> <li>2) 社会保障制度と医療保険制度を説明する。(C-4-3-2)</li> <li>3) 医療経済について説明する。(C-4-3-3)</li> <li>4) 医療保障関係法令を説明する。(C-4-3-1)</li> </ul>
7月11日	柳下 寿郎	ユニット13：病理医は医療現場の裁判官	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) ヒトに発生する病気を大別できる。(E-3-1)</li> <li>2) 一般病理学と外科病理学について説明する。(E-3-1)</li> <li>3) 病院で実施されている病理検査方法を列挙できる。(E-3-1)</li> </ul>
8月29日	菊池憲一郎	ユニット14：生命歯学研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 生命歯学研究の大切な事項を列記する。(C-2)</li> <li>2) 留学体験談から得られた気づきを列挙する。(S0-07)</li> </ul>



# プロフェッショナルリズム 1

木曜日 10:40~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

専門職である歯科医業を志して入学した学生が、将来国民に良質な歯科医療を生涯にわたり提供できるようになるために、歯科医療の専門従事者として意識を常に持ち続け、歯科医師としての倫理概念を理解し実行するための知識と態度を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

講義担当者	講義配付資料 (プリント)		
-------	---------------	--	--

## 担当者一覧

菊池憲一郎, 添野雄一, 岡田智雄, 俣木志朗, 坂内 仁, 小森 成, 三井梨紗子, 稲田全規, 角 忠輝, 田口正博, 若尾徳男, 大島克郎, 久保田智也, 合瀬のり子, 水沼秀樹, 石川明子

## 学習方略

- 講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 (講演聴講・質疑応答)

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験     論述試験     口頭試験     レポート [100%]  
 ポートフォリオ     シミュレーションテスト     実地試験     観察記録  
 態度 (授業態度, 遅刻 2 点減点, 欠席 5 点減点)     その他 (不正行為: 5 点減点)

## オフィスアワー

日時: 毎週木曜日 16:30~17:30  
場所: 本館 6 階病理学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月11日	岡田 智雄	ユニット1: プロフェッショナル (プロ) とは?	1) プロフェッショナルを説明する。(A-1-3) 2) 歯科医師のプロフェッショナルリズムを説明する。(A-1-3) 3) 専門職従事者について説明する。(A-1-3) 4) プロフェッションの特性を説明する。(A-1-3) 5) プロフェッショナルとスペシャリストの違いを説明する。(A-1-3)
4月18日	俣木 志朗	ユニット2: 歯科医学教育におけるプロフェッショナルリズム	1) 歯科医師として求められる基本的な資質・能力を説明する。(A-2-2) 2) カリキュラムとは何かを説明する。(A-2-2) 3) 学習のプロセスについて説明する。(A-2-2) 4) 在学中の学習目標を定めて説明する。(A-2-2)
4月25日	坂内 仁	ユニット3: 国防を支える歯科医師としてのプロフェッショナルリズム	1) 自衛隊 (航空自衛隊) の概要及び歯科医官の勤務内容を説明する。(G-4) 2) 自衛隊員の健康管理における口腔衛生の必要性を説明する。(G-4) 3) 海外派遣や災害派遣における歯科医官の役割を説明する。(A-7-1, 2) (B-2-3)
5月9日	小森 成	ユニット4: 歯科医療の診療報酬におけるプロフェッショナルリズム	1) 歯科医師の仕事とは何かを説明する。(B-2-2) 2) 歯科医師の持つべき意識を説明する。(B-2-2) 3) 保険の歴史と仕組みを説明する。(B-2-2) 4) 医療保険の仕組みを説明する。(B-2-2) 5) 将来像を実現するための行動目標を設定する。(A-9-1)
5月16日	三井梨紗子	ユニット5: スポーツ界におけるプロフェッショナルリズム	1) 目標設定と自分の行動計画の重要性を説明する。(A-9-1) 2) オリンピックでのメダル獲得に向けての練習スケジュール立案の要点を説明する。(A-2-1) 3) 歯科医師になるために、自分の行動目標を設定する。(A-2-1)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月23日	稲田 全規	ユニット6：歯科疾患と運動器系疾患のプロフェッショナルリズム	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 骨粗鬆症の原因，分類について説明する。(E-6)</li> <li>2) 歯周病について説明する。(E-3-2)</li> <li>3) 歯周病と全身疾患の関係を説明する。(E-3-3)</li> <li>4) 創薬について説明する。(B-2-1)</li> </ol>
5月30日	角 忠輝	ユニット7：社会が求めるプロフェッション	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医の倫理と生命倫理，患者の権利に関する規範を理解する。(C-1-1-1)</li> <li>2) 歯科医師に課せられた法的責任と社会的責任を理解する。(C-1-2-5)</li> <li>3) 患者情報の守秘と患者等への情報提供の重要性と説明責任を理解する。(C-1-3-5)</li> <li>4) 課題の解決にあたり，他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出し，自ら課題を解決する。(C-2-4)</li> </ol>
6月6日	田口 正博	ユニット8：歯科医療における感染防止のプロフェッショナルリズム	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科医療における感染予防管理の必要性を説明する。(G-1-2)</li> <li>2) 歯科医師の感染防御対策について説明する。(G-1-2)</li> <li>3) 在学中に学ぶ目標を列挙し説明する。(A-2-1)</li> <li>4) 卒業後にどのような歯科医師になるべきかを説明する。(A-9-1)</li> </ol>
6月13日	若尾 徳男	ユニット9：災害時の歯科医師としての対応と重要性	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科医師による身元確認を説明する。(B-2-3)</li> <li>2) 被災者への自治体としての支援体制の構築について説明する。(A-7-1)</li> <li>3) 被災者への自治体としての口腔衛生支援について説明する。(A-7-1)</li> <li>4) 身元確認や被災者への自治体としての支援体制の構築や口腔衛生支援などの関連を述べる。(B-2-3)</li> </ol>
6月20日	大島 克郎	ユニット10：行政機関での歯科医師のプロフェッショナルリズム	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 厚生労働行政を説明する。(A-1-3)</li> <li>2) 社会保障制度の仕組みを説明する。(B-2-2)</li> <li>3) 歯科医療制度の仕組みを説明する。(B-2-1)</li> <li>4) 行政機関に勤務する歯科医師の現状や役割を概説する。(B-2-1)</li> </ol>
6月27日	久保田智也	ユニット11：歯科医療の経済的分析におけるプロフェッショナルリズム	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科医師の仕事とは何かを説明する。(A-1-3)</li> <li>2) 歯科医師の持つべき意識を説明する。(A-1-2)</li> <li>3) 在学中の学習目標を定めて説明する。(A-2-1)</li> <li>4) 自分の将来像について説明する。(A-9-1)</li> </ol>
7月4日	合瀬のり子	ユニット12：歯科医師の歯科産業界におけるプロフェッショナルリズム～わたしの仕事の作り方～	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科医師というプロフェッション（専門職）の多岐活用法について説明する。(A-1-3)</li> <li>2) 産業界と大学人・臨床家との連携について説明する。(A-7-1) (D-1)</li> <li>3) 自分の将来像について模索する。(A-9-1)</li> </ol>
7月11日	水沼 秀樹	ユニット13：歯科医院開業医の歯学部学生教育におけるプロフェッショナルリズム	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科医師の仕事とは何かを説明する。(A-1-3)</li> <li>2) 歯科医師の持つべき意識を説明する。(A-1-2)</li> <li>3) 在学中の学習目標を定めて説明する。(A-2-1)</li> <li>4) 自分の将来像について説明する。(A-9-1)</li> </ol>
8月29日	石川 明子	ユニット14：日本歯科大学の卒業生として母校の発展に寄与するプロフェッショナルリズム	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本学の特色について説明する。(A-9-1)</li> <li>2) 世界最大の歯科大学である理由を説明する。(A-9-1)</li> <li>3) 卒業生の業績について説明する。(A-9-1)</li> <li>4) 校友会の役割について説明する。(A-9-1)</li> <li>5) 生涯にわたり母校を敬う姿勢の大切さを説明する。(A-9-1)</li> </ol>

## 本学期的学習目標 (GIO)

国際社会に適応する歯科医師になるために、医療現場に必要な英語によるコミュニケーション能力を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
日本医学英語教育学会編	医学・医療系学生のための 総合医学英語テキスト Step1	第一版	メジカルビュー社
Vivian Morooka他	ホスピタル・イングリッシュ (改訂版) Vital Signs [Revised Edition]		南雲堂

## 担当者一覧

横山知美, 石田祥己, 三浦大輔

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [40%]     論述試験 [30%]     口頭試験 [--%]     レポート [30%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 授業終了後~13:00

場所: 141講堂, 本館4階歯科理工学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月12日	横山 知美	ユニット1: Course Introduction・Let's Learn About One Another	1) 医学英語について, 説明する。(A-7-2)-①) 2) 英語での表現方法について説明する。(A-7-2)-④) 3) 自分について表現する。(A-7-2)-⑤)
4月19日	横山 知美	ユニット2: Hospital Departments	1) 医学・歯学分野と関連する言葉について, 列挙する。(A-7-2)-③) 2) 英語を聞いて, 内容について記述する。(A-7-2)-②) 3) 学んだ知識について, 一般化する。(A-7-1)-①)
4月26日	横山 知美	ユニット3: Fever①	1) 英文を読んで, 内容について記述する。(A-7-2)-①) 2) 発熱に関する言葉について, 列挙する。(A-7-1)-③) 3) 専門用語について, 具体的に述べる。(A-7-2)-①)
5月10日	横山 知美	ユニット4: Fever②・Application Forms ①	1) 診療時に必要な情報について, 列挙する。(A-7-2)-⑤) 2) 学んだ言葉について, 説明する。(A-7-1)-①) 3) 英語を聞いて, 内容について記述する。(A-7-2)-④) 4) 学んだ知識について, 一般化する。(A-7-1)-②)
5月17日	横山 知美	ユニット5: Application Forms ②・Anemia	1) 英文を読んで, 内容について記述する。(A-7-2)-②) 2) 血液に関する言葉について, 列挙する。(A-7-1)-③) 3) 病院内での会話について, 具体的に述べる。(A-7-2)-③)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月31日	横山 知美	ユニット6：Anemia②・Parts of the Body ①	1) 身体の部位を表す言葉について、列挙する。 (C-3-1)-①) 2) 学んだ言葉について、説明する。(A-7-1)-①) 3) 学んだ知識について、一般化する。(A-7-1)-①)
6月7日	横山 知美	ユニット7：Parts of the Body ②	1) 身体の部位を表す言葉について、列挙する。 (C-3-1)-①) 2) 学んだ言葉について、説明する。(A-7-1)-①) 3) 英語を聞いて、内容について記述する。 (A-7-2)-③) 4) 学んだ知識について、一般化する。(A-7-1)-①)
6月14日	三浦 大輔	ユニット8：Dehydration	1) 英文を読んで、内容について記述する。 (A-7-2)-③) 2) 脱水に関する言葉について、列挙する。 (A-7-1)-①) 3) 病院内での会話について、具体的に述べる。 (A-7-2)-②)
6月21日	横山 知美	ユニット9：Illnesses①	1) 病態について、表現する。(A-7-2)-①) 2) 英語を聞いて、内容について記述する。 (A-7-2)-③) 3) 学んだ知識について、一般化する。(A-7-2)-①) 4) 課題の準備をする。(A-2-2)-③)
6月28日	横山 知美	ユニット10：Illnesses②・Obesity①	1) 英文を読んで、内容について記述する。 (A-7-2)-③) 2) 肥満に関する言葉について、列挙する。 (A-7-2)-①) 3) 専門用語について、具体的に述べる。 (A-7-2)-②) 4) 病院内での会話について、具体的に述べる。 (A-7-2)-⑤)
7月5日	横山 知美	ユニット11：Obesity②・Headache①	1) 英文を読んで、内容について記述する。 (A-7-2)-③) 2) 肥満に関する言葉について、列挙する。 (A-7-2)-①) 3) 専門用語について、具体的に述べる。 (A-7-2)-②) 4) 病院内での会話について、具体的に述べる。 (A-7-2)-⑤)
7月12日	横山 知美	ユニット12：Headache②	1) 英文を読んで、内容について記述する。 (A-7-2)-③) 2) 脳神経に関する言葉について、列挙する。 (A-7-2)-①) 3) 病院内での会話について、具体的に述べる。 (A-7-2)-①)
8月23日	横山 知美	ユニット13：Hospital Objects	1) 病院内で用いる器具について、列挙する。 (A-7-2)-①) 2) 学んだ知識について、応用する。(A-7-1)-①) 3) 病院内での会話について、具体的に述べる。 (A-7-2)-①)
8月30日	横山 知美	ユニット14：Review	1) 学んだ知識について、応用する。(A-7-1)-①) 2) まとめた内容について、発表する。(A-2-2)-③)

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師として必要な人体構造の理解を深めるため、他の動物と比較することによりヒトの独自性を知り、人類進化の流れをつかむことにより私たちサピエンスがどのようにして現在の姿になったのかを理解する。さらに、日本人の集団形成史を知ることにより現代日本人の顎顔面構造の問題点を考察する。

## 教科書・参考書

### 著者・編集

### 書名

### 版

### 出版社

馬場悠男 (著)	「顔」の進化	第3版	講談社ブルーバックス
馬場悠男 (監・著)	NHKスペシャル人類誕生	第3刷	ワンパブリッシング

## 担当者一覧

馬場悠男

## 学習方略

- 講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [--%]       論述試験 [90%]       口頭試験 [--%]       レポート [10%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 講義の金曜日12:10~13:10

場所: 講師控室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月12日	馬場 悠男	ユニット1: ガイダンス	1) 人類進化と歯科医学の関連について、いくつかのトピックを述べる。LL-01 2) 動物の躯幹・四肢・顎顔面構造の比較から、ヒトとゾウの類似現象を推論する。PS-01, A-s-1-2-1
4月19日	馬場 悠男	ユニット2: 霊長類の適応進化	1) 霊長類の身体各部の形態特徴と食性など行動特徴との関連性を具体的に説明する。A-3-1-3-3
4月26日	馬場 悠男	ユニット3: 人類誕生の要点	1) 最新CG技術によるテレビ番組の内容を活用し、人類進化の主要なイベントを包括的に説明する。C-2-7
5月10日	馬場 悠男	ユニット4: 初期猿人アルディピテクス	1) アルディピテクスの特徴である犬歯の退化と直立二足歩行の発達を述べる。PS-01 2) 性差の減少と家族の起源との関係を説明する。C-4-3-1
5月17日	馬場 悠男	ユニット5: 猿人の進化と原人の誕生	1) 猿人および原人の顎顔面構造の変化と乾燥化が進む生息環境との関係を説明する。A-3-2-4

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月31日	馬場 悠男	ユニット6：原人の出アフリカとジャワ原人の進化	1) 原人化石の機能解剖学的解釈を述べる。 A-3-2-2 2) 喉頭が下降して睡眠時無呼吸の究極要因が生まれたという仮説を提示する。 S0-02 3) ジャワ原人化石調査における良好な人間関係の構築方法を説明する。PR-06
6月7日	馬場 悠男	ユニット7：超小型原人の発見	1) ホモ・フロレシエンシスが、フローレス島でどのように縮小進化して数万年前まで生き残っていたかを、テレビ番組を活用しながら島嶼効果の面から説明する。A-2-1-7
6月14日	馬場 悠男	ユニット8：新人・サピエンスの出現と拡散	1) サピエンスの形態的特徴と文化を具体的に説明する。A-3-1-2-2 2) 我々の理性的な「こころ」がいつどこで生まれたのかに関する仮説を述べる。CM-02
6月21日	馬場 悠男	ユニット9：食物と食生活の変異	1) アフリカ・グリーンランド・フィリピン・アンデスにおける独自の食生活技術を、テレビ番組を活用しながら説明する。C-4-5-1
6月28日	馬場 悠男	ユニット10：人類進化の功罪	1) 直立二足歩行，歯列退縮，大脳拡大，寿命の長期化などによる功罪を，進化医学の観点から説明する。PS-05，PS-12
7月5日	馬場 悠男	ユニット11：古代エジプト人の健康	1) ラムセスⅡ世の孫娘の骨格を鑑定した方法と経過を説明し，古病理学的解釈を述べる。 A-3-1-2-1，C-4-4-3
7月12日	馬場 悠男	ユニット12：日本列島人の形成（1）	1) 旧石器時代から縄文時代までの人々の身体特徴と生活文化を説明する。A-3-1-2-1 2) 私たち日本列島人集団の成り立ちとアイデンティティ認識との関係性を述べる。D-5-5-2
8月23日	馬場 悠男	ユニット13：日本列島人の形成（2）	1) 縄文代から現代までの人々の身体特徴と生活文化を説明する。A-3-1-2-1 2) 食生活の変化に伴う顎顔面構造の虚弱化を述べ，どのように改善するか指針を説明する。 S0-02，A-2-4-6，D-5-5-2
8月30日	馬場 悠男	ユニット14：骨から知る大奥の実態	1) 実際に調査研究した將軍親族遺骨に基づき，形態特徴と生活との関係を説明する。A-3-4-3 2) 特定の婚姻と食生活による咀嚼器官の貴族化現象を述べる。C-4-1-2



---

## 後学期授業科目

---

国語表現 .....	56
心理学 .....	58
生物学 .....	60
法学 .....	62
社会福祉学 .....	64
話し合い基盤型問題解決演習 .....	66
化学実習 .....	68
化学 .....	70
発生と再生 .....	72
行動科学 .....	74
生命歯学概論 .....	76
歯の解剖学 .....	78
医学統計学 .....	80
医学英語 .....	82
物理学 .....	84
食育学 .....	86
(計 16科目)	



Japanese Language Expression .....	56
Psychology .....	58
Biology .....	60
Introduction to Law .....	62
Social Welfare .....	64
Learning through discussion (LTD) based PBL .....	66
Practice of Chemistry .....	68
Chemistry .....	70
Development and Regeneration .....	72
Behavioral Sciences .....	74
Life Dentistry .....	76
Oral Anatomy .....	78
Medical Biostatistics .....	80
Medical English .....	82
Physics .....	84
Food and Nutrition Education/Promotion [Shokuiku] .....	86
(計 16科目)	

令和6年度（第1学年 後学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00 )	10:40 )	13:10 )	14:50 )	16:30 )
	10:30	12:10	14:40	16:20	18:00
月	国語表現 (小原)	心理学 (栗原)	生物学 (堀江)	ピア・サポート	※
火	法学 (海老澤)	社会福祉学 (高山)	話し合い基盤型問題解決演習A <sup>(注)</sup> (田谷)		※
			化学実習B <sup>(注)</sup> (戸円)		
水	化学 (戸円)	発生と再生 (中原)	行動科学 (俣木)	ホームルーム	※
木	生命歯学概論 (統合:内川)	歯の解剖学 (春原/菊池)	化学実習A <sup>(注)</sup> (戸円)		※
			話し合い基盤型問題解決演習B <sup>(注)</sup> (田谷)		
金	医学統計学 (一宮)	医学英語 (横山)	物理学 Zoom (小野)	食育学 (名生)	※

(注) : 上段は奇数 (A組) , 下段は偶数 (B組)

- 1) 授業期間 令和6年9月30日(月)～令和6年12月24日(火)  
令和7年1月6日(月)～令和7年1月20日(月)  
(令和6年12月25日(水)～令和7年1月3日(金)は冬期休業)
- 2) 講 堂 合同講義 141講堂  
医学統計学 141講堂 (もしくはPCルーム)  
化学実習 6階生化学実習室
- 3) そ の 他 ①年度内で2回程“口腔リハビリテーション多摩クリニック”において、上記曜日以外に実習を行う。  
②「※」は補講、特別授業、相互学習 (ピア・サポート) 等。  
③「※」の時間で祝日調整を実施。(今年度は月曜日科目各1回)  
④12月24日(火)は、金曜日時間割を実施する。
- 4) 年間総合単位数 48.5単位

## 本学期的学習目標 (GIO)

国語（日本語）は、社会生活の基本であるコミュニケーションを成立させるものであり、あらゆる知的活動の基盤をなすものである。また、社会における様々な環境や変化に応じた国語力も求められる。この観点から、国語（日本語）の特徴や正しい運用法を理解しながら、将来の歯科医師として、また、責任ある社会人として必要な国語の表現力を修得する。後学期は、前学期を踏まえ応用力を養う。

## 教科書・参考書

著者・編集 書名 版 出版社

毎回、プリントを配布する。  
※参考書等は随時指示する。

## 担当者一覧

小原佳那子

## 学習方略

- 講義     示説（デモンストレーション）     グループワーク（PBL, TBLを含む）     実習  
 その他（問題演習・演習時の発表）

## 成績評価（比率は概算であり若干の変更が行われます）

- 客観試験 [35%]     論述試験 [40%]     口頭試験 [--%]     レポート [10%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む） [減点式]     その他（課題, リアクションペーパー [15%]）

## オフィスアワー

日時：授業終了後  
場所：授業後の教室・本館1階非常勤講師控室

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
9月30日	小原佳那子	ユニット1：文章要約の応用演習1	1) 論説・論文要約の実際の例を説明する。 (C-2)-1, 3, 4, (E-2-1-1)-3, 5) 2) 論説・論文要約に必要な技術を説明する。 (C-2)-1, 3, 4, (E-2-1-1)-3, 5)
10月7日	小原佳那子	ユニット2：文章要約の応用演習2	1) 論説・論文要約の実際の例を説明する。 (C-2)-1, 3, 4, (E-2-1-1)-3, 5) 2) 論説・論文要約に必要な技術を説明する。 (C-2)-1, 3, 4, (E-2-1-1)-3, 5)
10月21日	小原佳那子 ※1限実施	ユニット3：文章要約の応用演習3	1) 論説・論文要約の実際の例を説明する。 (C-2)-1, 3, 4, (E-2-1-1)-3, 5) 2) 論説・論文要約に必要な技術を説明する。 (C-2)-1, 3, 4, (E-2-1-1)-3, 5)
10月21日	小原佳那子 ※5限実施	ユニット4：文章要約の応用演習4	1) 論説・論文要約の実際の例を説明する。 (C-2)-1, 3, 4, (E-2-1-1)-3, 5) 2) 論説・論文要約に必要な技術を説明する。 (C-2)-1, 3, 4, (E-2-1-1)-3, 5)
10月28日	小原佳那子	ユニット5：文章作成の応用演習1	1) 優れた論文の書き方を説明する。(C-2)-1, 3, 4, 7) 2) 優れたレポートの書き方を説明する。 (C-2)-1, 3, 4, 7) 3) 説得力ある文章の書き方を説明する。 (C-2)-1, 3, 4, 7)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11月11日	小原佳那子	ユニット6：文章作成の応用演習2	1) 優れた論文の書き方を説明する。(C-2)-1, 3, 4, 7) 2) 優れたレポートの書き方を説明する。(C-2)-1, 3, 4, 7) 3) 説得力ある文章の書き方を説明する。(C-2)-1, 3, 4, 7)
11月18日	小原佳那子	ユニット7：文章作成の応用演習3	1) 優れた論文の書き方を説明する。(C-2)-1, 3, 4, 7) 2) 優れたレポートの書き方を説明する。(C-2)-1, 3, 4, 7) 3) 説得力ある文章の書き方を説明する。(C-2)-1, 3, 4, 7)
11月25日	小原佳那子	ユニット8：文章作成の応用演習4	1) 優れた論文の書き方を説明する。(C-2)-1, 3, 4, 7) 2) 優れたレポートの書き方を説明する。(C-2)-1, 3, 4, 7) 3) 説得力ある文章の書き方を説明する。(C-2)-1, 3, 4, 7)
12月2日	小原佳那子	ユニット9：会話演習1	1) 会話における相手の意志・考え・情緒等の把握の仕方（問題点の抽出・整理方法）について説明する。(C-2)-1, 4, 6) 2) 会話における自分の意志・考えを正しく伝えるための方法を説明する。(D-2-1-1)-1, (D-4-2)-2, (E-3-2)-2, (E-4-3)-1, (E-5-2)-1)
12月9日	小原佳那子	ユニット10：会話演習2	1) 公の場・多くの人々の前での適切な話し方・態度等について説明する。(D-2-1-1)-1, 3, 4, (D-2-1-2)-2, (E-2-1-1)-1, 2, 4, 5, 6) 2) 特に、発表・スピーチをする際の適切な話し方について説明する。(D-2-1-1)-1, 3, 4, (D-2-1-2)-2, (E-2-1-1)-1, 2, 4, 5, 6) 3) 特に、学会・会議・会合での適切な司会進行方法について説明する。(D-2-1-1)-1, 3, 4, (D-2-1-2)-2, (E-2-1-1)-1, 2, 4, 5, 6)
12月16日	小原佳那子	ユニット11：プレゼンテーション演習1	1) 優れたプレゼンテーションの特徴を説明する。(D-2-1-1)-1, 4(D-2-1-2)-3 2) わかりやすいプレゼンテーションのための注意点を説明する。(D-2-1-1)-1, 4(D-2-1-2)-3
12月23日	小原佳那子	ユニット12：プレゼンテーション演習2	1) プレゼンテーションに適した言葉遣いや姿勢について説明する。(D-2-1-1)-1, 4(D-2-1-2)-3, (D-4-2)-2, (E-3-2)-2, (E-4-3)-1, (E-5-2)-1) 2) わかりやすいプレゼンテーションのための注意点を説明する。(D-2-1-1)-1, 4(D-2-1-2)-3, (D-4-2)-2, (E-3-2)-2, (E-4-3)-1, (E-5-2)-1)
1月6日	小原佳那子	ユニット13：プレゼンテーション演習3	1) プレゼンテーションに適した言葉遣いや姿勢について説明する。(D-2-1-1)-1, 4(D-2-1-2)-3, (D-4-2)-2, (E-3-2)-2, (E-4-3)-1, (E-5-2)-1) 2) わかりやすいプレゼンテーションのための注意点を説明する。(D-2-1-1)-1, 4(D-2-1-2)-3, (D-4-2)-2, (E-3-2)-2, (E-4-3)-1, (E-5-2)-1)
1月20日	小原佳那子	ユニット14：国語表現総括	1) これまでの学習内容を確認し、現代社会において国語を適切に運用し、表現するための知識を整理して説明する。(C-2)-1, 3, 4, 6, 7, (D-2-1-1)-1, 3, 4, (D-2-1-2)-2, 3, (D-4-2)-2, (E-2-1-1)-1, 2, 3, 4, 5, 6, (E-3-2)-2, (E-4-3)-1, (E-5-2)-1

## 本学期的学習目標 (GIO)

多角的視野に立って人の行動を理解するために、人間関係の原点である乳幼児期、母子関係、父子関係、家族関係、友人関係を学ぶ。カウンセリングを学び、臨床における対人関係を理解する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
斎藤 勇	イラストレート心理学入門	第3版	誠信書房

## 担当者一覧

栗原佳代子

## 学習方略

- 講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [40%]     論述試験 [40%]     口頭試験 [--%]     レポート [20%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 毎週月曜日 (12:10~13:10)

場所: 本館 1F 講師控室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月30日	栗原佳代子	ユニット1: フロイト1	1) 心の構造論について説明する。(A-4-2)-③ 2) イド, 自我, 超自我について説明する。 3) 本能とリビドーを説明する。 4) 精神的発達段階, 固着と退行を説明する。 5) エディプス・コンプレックを説明する。
10月7日	栗原佳代子	ユニット2: フロイト2	1) 意識, 前意識, 無意識を説明する。(A-4-2)-③ 2) 夢, 失錯行為, 抑圧について述べる。 3) 精神分析, 禁欲原則と中立原則を説明する。 4) やまあらじジレンマとアンビバレンスを解説する。 5) エロスとタナトスを説明する。
10月21日	栗原佳代子	ユニット3: カウンセリング1	1) 心理的援助を考える。(A-4-2)-③ 2) 医学, 教育, 心理療法のモデルを説明する。 3) カウンセリングの基本と意義を説明する。 4) カウンセリングの構造, 信頼関係を説明する。 5) 現代社会とカウンセリングを説明する。 6) 症例研究を述べる。(F-2-1) ⑥
10月28日	栗原佳代子	ユニット4: カウンセリング2	1) カウンセリングの理論と技法を説明する。(A-1-3)-② (F-2-1)-⑥ 2) 意識の構造を説明する。 3) 現実認識と心的現実を説明する。(A-4-2)-③ 4) 症状, 面接, 病因の発見を説明する。(A-4-2)-③ 5) 情動の意識化とアクティング・アウトを説明する。(A-4-2) ③ 6) 転移と逆転移, 治癒について説明する。
11月11日	栗原佳代子	ユニット5: 発達-母子関係	1) 生物的, 法的, 保育的, 心理的母親を知る。 2) 母親の役割について説明する。(A-4-2)-③ 3) 代理母親と安全基地について説明する。 4) アタッチメント理論を説明する。 5) マターナル・ディプリベーションを説明する。 6) 早期体験の影響を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11月18日	栗原佳代子	ユニット6：心理検査演習、FFPQ	1) FFPQ性格検査を実施、測定する。(E-5-3)-③) 2) 各自FFPQ検査結果の判定を行う。 3) FFPQの検査結果の解説をする。 4) 諸領域での研究報告を紹介する。 5) 心理検査演習のまとめをする。
11月25日	栗原佳代子	ユニット7：自我と社会性の発達	1) 自我・自己の研究の視点を説明する。 2) 自己認識、自我の形成を説明する。(A-4-2)-③) 3) 乳幼児期、児童期、青年期の運動、言語、道徳の発達について説明する。(A-4-2)-③) 4) 心理社会的発達段階を説明する。(A-4-2)-①) 5) 健康的な自我について説明をする。
12月2日	栗原佳代子	ユニット8：生涯発達と青年期	1) さまざまな発達理論を説明する。 2) 青年期と家族について説明する。(A-4-2)-①) 3) 友人関係を説明する。(A-4-2)-③) 4) 自己概念と自我同一性を説明する。 5) ジェンダーの形成と役割理論を説明する。 6) エリクソンの理論を説明する。(A-4-2)-③) 7) 心の健康について認識する。(A-4-2)-③)
12月2日	栗原佳代子	ユニット9：遊戯療法 5限目	1) 遊戯療法を概説する。(A-4-2)-①) 2) 遊戯療法のプロセスを説明する。 3) 攻撃、暴力について説明する。 4) セラピストの成長について説明する。 5) アクスラインの8原則を説明する。 6) 箱庭療法を説明する。(A-4-2)-③) 7) 認知行動療法を説明する。(A-4-2)-③)
12月9日	栗原佳代子	ユニット10：家族および家庭	1) 家族の分類と変容を説明する。(A-4-2)-①) 2) 家族の機能と評価方法を説明する。(A-4-2)-①) 3) 家族の世代間伝達と文化を説明する。 4) 子育てと親になることによる成長を考える。(A-4-2)-③)
12月16日	栗原佳代子	ユニット11：家族のライフサイクル	1) 家族のライフサイクル理論を説明する。 2) 家族のシステム理論を説明する。 3) 父親の影響と子どもの自己概念形成について説明する。 4) 父親の役割について考える。(A-4-2)-①)
12月23日	栗原佳代子	ユニット12：家族療法	1) 家族療法を概説する。(A-4-2)-①) 2) システム理論と家族療法について説明をする。 3) さまざまな家族療法を紹介する。(A-4-2)-②) 4) ジョイニングを説明する。
1月6日	栗原佳代子	ユニット13：家族療法とコミュニケーション	1) コミュニケーション理論を説明する。(A-4-1)-①) 2) コミュニケーションと文化を概説する。(A-4-1)-①) 3) メディカル・ファミリー・セラピィを説明する。 4) ナラティブ・アプローチを説明する。 5) 集団の中の人間関係を説明する。(A-4-1)-②)
1月20日	栗原佳代子	ユニット14：後学期のフィードバック	前回までの学習内容を整理・再確認し、問題解決に対応できる知識を習得する。

## 本学期的学習目標 (GIO)

後学期においては、免疫、微生物と感染症、癌と老化、医療におけるバイオテクノロジーや生態系と環境の関係について学ぶ。後半には、前期で習った知識の定着を目指すための5回の講義を予定している。一年を通して本講義を学ぶことにより進級後のより専門的な基礎菌学習得の知識の礎とすることを目標とする。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
南雲 保 他	やさしい基礎生物学	改訂2版	羊土社
田村隆明 著	医療・看護系のための生物学	改訂版	裳華房
白戸亮吉 他	生理学・生化学につながるていねいな生物学	初版	羊土社

## 担当者一覧

堀江哲郎, 堀江朋子

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [50%]     論述試験 [40%]     口頭試験     レポート [10%]  
 ポートフォリオ     シミュレーションテスト     実地試験     観察記録  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( )

## オフィスアワー

日時: 月曜日 16:30~18:00  
 場所: 本館5階 衛生学研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月30日	堀江 哲郎	ユニット1: 免疫(1)	1) 免疫系器官および細胞について概説する。 2) 自然免疫と獲得免疫の特徴について記述する。 3) 自然免疫の具体例を列挙する。 4) 自然免疫の外的防御について説明する。 5) 自然免疫の内的防御について説明する。
10月7日	堀江 哲郎	ユニット2: 免疫(2)	1) 獲得免疫の特徴について説明する。 2) 抗原提示について説明する。 3) T細胞による免疫応答を説明する。 4) B細胞による免疫応答を説明する。
10月21日	堀江 哲郎	ユニット3: 免疫(3)	1) 移植時における免疫について説明する。 2) ワクチンと血清療法の特徴について説明する。 3) アレルギーについて説明する。 4) 自己免疫疾患について説明する。 5) 免疫不全症について説明する。
10月28日	堀江 朋子	ユニット4: 微生物と感染症(1)	1) 感染症について説明する。 2) 細菌の細胞について説明する。 3) 細菌の種類を列挙する。 4) 病原菌類/真菌について説明する。 5) グラム染色を説明する。 6) グラム陽性菌とグラム陰性菌について, 細胞構造の相違を列挙する。 7) リポ多糖類について概説する。
11月11日	堀江 朋子	ユニット5: 微生物と感染症(2)	1) 原生動物/原虫について説明する。 2) ウイルスについて概説する。 3) 主なウイルスについて列挙する。 4) グループワーク: 感染症と免疫について

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11月18日	堀江 哲郎	ユニット6：癌と老化(1)	1) 癌について概説する。 2) 癌細胞の特徴について説明する。 3) 遺伝子の変異と癌について説明する。 4) p53 と Rb の役割について説明する。 5) 癌の原因について列挙する。
11月25日	堀江 哲郎	ユニット7：癌と老化(2)	1) 老化について概説する。 2) 細胞の寿命について説明する。 3) カロリー摂取量と寿命について説明する。 4) グループワーク：癌と老化について
12月2日	堀江 哲郎	ユニット8：バイオテクノロジーと医療	1) 遺伝子組換え技術とその応用について列挙する。 2) 細胞工学と発生工学の応用例について列挙する。 3) カルタヘナ法について説明する。 4) バイオテクノロジーと生命倫理について概説する。
12月9日	堀江 哲郎	ユニット9：環境と社会	1) 生物多様性について説明する。 2) ヒト社会が生態系に与える影響を説明する。
12月16日	堀江 朋子	ユニット10：生物学 (1) -細胞の構造・生命体を構成する物質	1) 前期学習したことの復習
12月23日	堀江 哲郎	ユニット11：生物学 (2) -遺伝とDNA	1) 前期学習したことの復習
1月6日	堀江 哲郎	ユニット12：生物学 (3) -遺伝情報の発現	1) 前期学習したことの復習
1月20日	堀江 哲郎	ユニット13：生物学 (4) -細胞の増殖と死	1) 前期学習したことの復習
1月20日	堀江 哲郎 [5限]	ユニット14：総括	1) 授業全体をふり返り，学習した内容を復習し，確認する。



## 本学期的学習目標 (GIO)

医療従事者が医療業務を遂行するにあたって、あるいは日常生活をおくる上で、普段から意識しておかなければならない基礎的な法律知識を修得するため、日本の法体系の基本構造と各法分野の基本概念や考え方、そして、法律と医療の交錯領域にかかわる諸問題を理解する。

## 教科書・参考書

### 著者・編集

### 書名

### 版

### 出版社

城 祐一郎	医療関係者のための実践的法学入門	第2版	成文堂, 2022年
(参考) 手嶋 豊	医事法入門	第6版	有斐閣, 2022年
(参考) 中央大学法学部編	高校生からの法学入門	初版	中央大学出版会, 2016年

## 担当者一覧

海老澤 侑

## 学習方略

- 講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [60%]       論述試験 [40%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 講義日の火曜日 (8:50~9:00, 10:30~10:40)  
 場所: 本館 1 F 非常勤講師控室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
10月1日	海老澤 侑	ユニット1: 医療と法 (総論)	1) 医師の業務がどのように規律されているのかを説明する。(C-1-2-5) 2) 医療の担い手の責務を説明する。(PR-03-01-01) 3) 医師と患者の関係にまつわる諸問題を説明する。(PR-03-01-01)
10月8日	海老澤 侑	ユニット2: 法とは	1) 法が存在する意義を説明する。(PR-03-01-01) 2) 法の種類 (憲法, 法律, 命令, 条例) を説明する。(PR-03-01-01) 3) 条文の読み方を身につける。(PR-03-01-01)
10月15日	海老澤 侑	ユニット3: 憲法入門	1) 公法の基本原理を説明する。(CS-05-03-02) 2) 統治の仕組みを説明する。(CS-05-03-02) 3) 基本的人権の内容を説明する。(CS-05-03-02)
10月22日	海老澤 侑	ユニット4: 民法入門	1) 私法の基本原理を説明する。(CS-05-03-02) 2) 私法の諸原則を説明する。(CS-05-03-02) 3) 契約の意義を説明する。(CS-05-03-02) 4) 医療契約の意義を説明する。(CS-05-03-02)
10月29日	海老澤 侑	ユニット5: 刑法入門	1) 刑法の基本原理を説明する。(CS-05-03-02) 2) 犯罪の成立要件を説明する。(CS-05-03-02) 3) 刑罰の種類を説明する。(CS-05-03-02)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
11月5日	海老澤 侑	ユニット6：終末期医療，人口妊娠中絶	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 末期状態にまつわる諸問題を説明する。(PR-04)</li> <li>2) 安楽死・尊厳死の意義，問題点を説明する。(PR-04, GE-03-06-05, CS-02-04-42)</li> <li>3) 安楽死・尊厳死に対する法的対応を説明する。(PR-04, GE-03-06-05)</li> <li>4) 人工妊娠中絶の背景，問題点を説明する。(PR-04)</li> <li>5) 人工妊娠中絶に対する法的対応を説明する。(PR-04)</li> </ul>
11月12日	海老澤 侑	ユニット7：脳死と臓器移植法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 人の死の定義を巡る議論を説明する。(PR-04)</li> <li>2) 脳死に関する臓器移植法の立場を説明する。(PR-04)</li> <li>3) 臓器移植法の問題点を説明する。(PR-04)</li> <li>4) 脳死の問題点を説明する。(PR-04)</li> </ul>
11月19日	海老澤 侑	ユニット8：医療過誤	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 医療過誤の定義を説明する。(CS-05-03-02)</li> <li>2) 医療過誤における法的責任の種別・性質を説明する。(CS-05-03-02)</li> <li>3) 民事上・刑事上の責任を説明する。(CS-05-03-02)</li> <li>4) 過失の判断基準を説明する。(CS-05-03-02)</li> </ul>
11月26日	海老澤 侑	ユニット9：刑罰論	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 刑罰の必要性に関する2つの見解を説明する。(CS-05-03-02)</li> <li>2) 種々の刑罰制度を説明する。(CS-05-03-02)</li> <li>3) 死刑制度の意義と問題点を説明する。(CS-05-03-02)</li> </ul>
12月3日	海老澤 侑	ユニット10：裁判法入門	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 両訴訟法の基本原理を説明する。(CS-05-03-02)</li> <li>2) 民事裁判における手続きの流れを説明する。(CS-05-03-02)</li> <li>3) 刑事裁判における手続きの流れを説明する。(CS-05-03-02)</li> </ul>
12月10日	海老澤 侑	ユニット11：医事法Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 医事法におけるそれぞれの法律を説明する。(CS-05-03-02)</li> <li>2) 歯科医師法の任務と要件を説明する。(CS-05-03-02)</li> <li>3) 薬剤師法の任務を説明する。(CS-05-03-02)</li> <li>4) 個人情報保護について説明する。(PR-03-01-01)</li> </ul>
12月17日	海老澤 侑	ユニット12：医事法Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 患者の自己決定権の意義を説明する。(GE-03-01-01)</li> <li>2) 親権や成年後見制度の意義を説明する。(GE-03-01-01)</li> <li>3) 親権や成年後見制度の問題点を説明する。(GE-03-01-02)</li> <li>4) 特別な配慮を必要とする患者に対する治療の問題について討議する。(GE-01-03-02)</li> </ul>
1月7日	海老澤 侑	ユニット13：医療従事者倫理	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 医療倫理4原則と綱領を説明する。(PR-04)</li> <li>2) 告知義務の内容を説明する。(PR-04)</li> <li>3) 守秘義務の内容を説明する。(PR-04)</li> </ul>
1月14日	海老澤 侑	ユニット14：感染症対策と人権	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 感染症予防法と新型インフルエンザ等対策特措法の内容を説明する。(S0-01-05-02, S0-04-03-02)</li> <li>2) ハンセン病患者に対する隔離政策の問題点を説明する。(S0-01-05-02, S0-04-05-01)</li> <li>3) 予防接種とインフォームド・コンセントの関係を説明する。(S0-01-05-02)</li> <li>4) 感染症対策と人権保障のバランスについて討議する。(S0-01-05-02)</li> </ul>

# 社会福祉学

火曜日 10:40~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

少子高齢社会の進行，経済の低迷，地域における人々のつながりの弱体化，自然災害による被害，今般のコロナ禍による日常生活，社会生活への様々な影響等，社会福祉・社会保障を取り巻く環境は大きく変化してきている。社会福祉・社会保障の制度・仕組み等を概観し，当事者の権利を中心に日常生活・社会生活上の課題の解決に向けて取り組む社会福祉のあり方とソーシャルワークの実践について理解する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

社会保障入門編集委員会編

社会保障入門2024

中央法規

## 担当者一覧

高山由美子

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [80%]     論述試験 [20%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時：授業終了後

場所：本館 1 階非常勤講師控室

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SB0s)
10月1日	高山由美子	ユニット1：ガイダンス	1) 社会福祉の理念・法制度を説明する。(B-2-2)-⑦) 2) ソーシャルワークとは何かを説明する。(A-1-2)-①, ②, ③, ④)
10月8日	高山由美子	ユニット2：社会福祉を取り巻く状況	1) 少子高齢社会の変化を説明する。(B-2-2)-④) 2) 世帯構造の変化について説明する。 3) 地域構造の変化について説明する。 4) 国民生活の変化について説明する。 5) 社会構造の変化が引き起こす社会問題について説明する。
10月15日	高山由美子	ユニット3：社会福祉の展開過程	1) 戦前の社会福祉(社会事業)の展開過程を説明する。 2) 戦後の社会福祉の展開過程を説明する。 3) 近年の社会福祉の動向を説明する。
10月22日	高山由美子	ユニット4：社会福祉の仕組みと運営	1) 社会福祉の行政(地方分権を含む), 社会福祉サービスの提供システムを説明する。(A-7-1)-③) 2) 社会福祉の財政(国と地方自治体)を説明する。 3) 福祉事務所, 児童相談所などの公的相談機関等の役割・機能を説明する。 4) 社会福祉施設の役割・設置基準を説明する。 5) 社会福祉法人をはじめ, 民間の社会福祉事業所の動向等について説明する。
10月29日	高山由美子	ユニット5：社会保険制度1	1) 年金保険の役割, 仕組みなどを説明する。 2) 保険給付, 実態, 課題などを説明する。(B-2-2)-③) 3) 医療保険の役割, 仕組み, 保険給付, 実態, 課題などを説明する。(B-2-2)-①, ②) 4) 医療を取り巻く状況について説明する。(A-4-2)-①, ②, ③)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11月5日	高山由美子	ユニット6：社会保険制度2	1) 労災保険の役割, 仕組み, 保険給付, 実態, 課題について説明する。(B-2-2)-③) 2) 雇用保険の役割, 仕組み, 保険給付, 実態, 課題などを説明する。(B-2-2)-③) 3) 介護保険の役割, 仕組み, 保険給付, 実態, 課題などを説明する。(A-7-1)-③)
11月12日	高山由美子	ユニット7：ソーシャルワークの実践	1) ソーシャルワークの専門性(価値・倫理・技術)について説明する。(A-1-2)-①, ②, ③, ④) 2) ソーシャルワークの実践(権利擁護及び意思決定支援, ソーシャルアクション等)とその担い手について説明する。(A-4-1)-①, ②, ③), (A-4-2)-①, ②, ③, ④, ⑥, ⑦), (A-5-1)-⑤, ⑦)
11月19日	高山由美子	ユニット8：生活保護	1) 国民生活の推移・現状を説明する。 2) 生活保護の扶助とその内容を説明する。(B-2-2)-③) 3) セーフティネットとしての位置づけを説明する。(A-4-2)-③, ⑥)
11月26日	高山由美子	ユニット9：子ども家庭福祉	1) 子どもの置かれている状況を説明する。 2) 児童福祉法や在宅・施設サービスの内容, 次世代育成施策, 子育てビジョンを説明する。(B-2-2)-③)
12月3日	高山由美子	ユニット10：高齢者福祉	1) 高齢者の置かれている状況を説明する。(B-2-2)-④) 2) 老人福祉法・介護保険法や在宅サービス, 施設サービスの内容を説明する。
12月10日	高山由美子	ユニット11：障害者福祉	1) 障害者の権利条約について説明する。(A-1-2)-①, ②, ③, ④) 2) 障害者福祉の内容を説明する。(B-2-2)-③) 3) 障害者雇用にかかわる法律と雇用の実態を説明する。(B-2-2)-⑤)
12月17日	高山由美子	ユニット12：子ども・高齢者・障害者等への虐待防止と支援	1) 児童虐待防止法, 児童虐待の実態と防止施策について説明する。(B-2-2)-⑥) 2) DV防止法, DVの実態と防止施策について説明する。(B-2-2)-⑥) 3) 高齢者虐待防止法と高齢者虐待の実態と防止施策について説明する。(B-2-2)-⑥) 4) 障害者虐待の実態と防止施策について説明する。(B-2-2)-⑥)
1月7日	高山由美子	ユニット13：連携・協働, ネットワークによる支援	1) ソーシャルワークにおける連携・協働について説明する。(A-5-1)-①, ②, ③, ⑤) 2) ソーシャルワークにおけるネットワーク構築について説明する。(A-5-1)-①, ②, ③, ⑤)
1月14日	高山由美子	ユニット14：地域福祉	1) 地域福祉とまちづくりを説明する。 2) 地域包括ケアシステムを説明する。(A-7-1)-③), (B-2-2)-⑧) 3) 地域共生社会を説明する。(A-7-1)-③)

# 話し合い基盤型問題解決演習

①火曜日 13:10~16:20  
②木曜日 13:10~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医学の進歩への対応と課題解決能力の向上のために、基礎科学や歯科医学の専門用語を理解し、協同学習を基盤とするLBP (LTD based PBL) 学習法を通して、学び方、発想力、必要な課題抽出の技能、自己学習の習慣、問題解決能力、情報収集と解析能力、表現力、コミュニケーション技能を身につける。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

著者・編集	書名	版	出版社

## 担当者一覧

田谷雄二, 両角祐子, 田中とも子, 堀江哲郎, 田代有美子, 永浦まどか, 石黒一美, 千葉忠成, 井出良治, 神尾 崇, 栃木啓佑, 島村直宏, 三枝慶祐, 滑川初枝, 横澤 茂, 軍司さおり, 宇塚 聡, 才木桂太郎, 山中 幸, 橋爪那奈, 根岸 翼, 山下万美子, 河本 芽, 八田みのり, 岡本亜祐子, 村樫悦子, 西田太郎, 岩田 洋, 新見嘉邦, 窪田大祐, 小柳圭史, 小玉美也子, 田中惇平, 辺見卓男, 齋藤圭輔, 代田あづさ, 内田裕子, 鈴木麻美, 築瀬麻衣子, 児玉実穂, 町田麗子, 安部美紀, 小池未来, 我妻由梨, 横山知美, 石井通勇, 元開早絵, 上杉華子, 阿部恵一, 河合貴俊

## 学習方略

- 講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 (事前学習 )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [5%]     論述試験 [5%]     口頭試験 [--%]     レポート (提出物) [40%]     ポートフォリオ [--%]  
 シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 (グループ討論) [50%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (不適切な行為) [減点式]

## オフィスアワー

日時: ①毎週 火曜日 17:00~18:30, ②毎週 木曜日 17:00~18:30

場所: 本館6階 病理学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
10月13日	田谷 雄二 スタッフ	ユニット1: ガイダンス・LTD (話し合い学習法)	1) 本授業の目的を列挙する。(PR-04, LL-01) 2) LTD (話し合い学習法) の学び方を習得する。(CM-04) 3) グループで互恵的関係を構築する。(CM-04) 4) グループ討論を通して知識を関連づける。(CM-04)
10月8日	田谷 雄二 スタッフ	ユニット2: 課題1, 1回目	1) 事前学習として学習課題を列挙する。(RE-05) 2) 重要な用語・事項を説明する。(RE-05) 3) 学習事項についてグループで討議する。(CM-04) 4) 学習項目を列挙し自己学習する。(PR-04)
10月15日	田谷 雄二 チュータ スタッフ	ユニット3: 課題1, 2回目	1) 学習成果を自分の言葉で説明する。(CM-02) 2) 学習事項についてグループで討議する。(CM-04) 3) 疑問点, 仮説, 学習項目を列挙する。(RE-03) 4) 新たな学習項目を抽出し自己学習する。(PR-04)
10月22日	田谷 雄二 チュータ スタッフ	ユニット4: 課題1, 3回目	1) 学習成果を自分の言葉で説明する。(CM-02) 2) グループで討議する。(CM-04) 3) 新たな学習項目を抽出し自己学習する。(PR-04) 4) 学習成果を整理し学習状態を振り返る。(PR-04, PR-06)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SBOs)
10月29日	田谷 雄二 スタッフ	ユニット5：課題2，1回目	1) ビジュアルテキストの要素を列挙する。(PS-12) 2) ビジュアルテキストの構成要素を相互に関連づける。(PS-12) 3) ビジュアルテキストから発想し推察する。(PS-12) 4) 学習項目を列挙し自己学習する。(PR-04)
11月5日	田谷 雄二 スタッフ	ユニット6：課題2，2回目	1) 学習成果を自分の言葉で説明する。(CM-02) 2) 重要な用語・事項を説明する。(CM-02) 3) 学習事項についてグループで討議する。(CM-04) 4) 学習項目を列挙し自己学習する。(PR-04)
11月12日	田谷 雄二 テュータ スタッフ	ユニット7：課題2，3回目	1) 学習成果を自分の言葉で説明する。(CM-02) 2) 学習事項についてグループで討議する。(CM-04) 3) 疑問点，仮説，学習項目を列挙する。(RE-03) 4) 新たな学習項目を抽出し自己学習する。(PR-04)
11月19日	田谷 雄二 テュータ スタッフ	ユニット8：課題2，4回目	1) 学習成果を自分の言葉で説明する。(CM-02) 2) グループで討議する。(CM-04) 3) 新たな学習項目を抽出し自己学習する。(PR-04) 4) 学習成果を整理し学習状態を振り返る。(PR-04, PR-06)
11月26日	田谷 雄二 テュータ スタッフ	ユニット9：課題3，1回目	1) 自由課題の中心テーマを説明する。(CM-02) 2) 自由課題についてグループで討議する。(CM-04) 3) 疑問点，仮説，学習計画を列挙し関係づける。(RE-03) 4) 学習項目を抽出し自己学習する。(PR-04)
12月3日	田谷 雄二 テュータ スタッフ	ユニット10：課題3，2回目	1) 自由課題の中心テーマを確認する。(CM-02) 2) 主題・主張についてグループで討議する。(CM-04) 3) 疑問点，仮説，学習計画を列挙し関係づける。(RE-03) 4) 新たな学習項目を抽出し自己学習する。(PR-04)
12月10日	田谷 雄二 テュータ スタッフ	ユニット11：課題3，3回目	1) 学習成果を自分の言葉で説明する。(CM-02) 2) 文章構成についてグループで討議する。(CM-04) 3) 課題テキストの内容を説明する。(CM-02) 4) 学習成果を整理し学習状態を振り返る。(PR-04, PR-06)
12月17日	田谷 雄二 テュータ スタッフ	ユニット12：課題3，4回目 (プレゼンテーションの準備)	1) 効果的なプレゼンテーションの構成について説明する。(CM-02) 2) グループで学習した項目を説明する。(CM-02) 3) プレゼンテーションに必要な資料を準備する。(CM-04) 4) グループ全員で協同作業に参加する。(CM-04)
1月7日	田谷 雄二 スタッフ	ユニット13：課題3，5回目 (プレゼンテーション；学習成果の発表)	1) 自由課題の学習成果をグループで発表する。(CM-02) 2) グループの協同作業の成果を表現する。(CM-02) 3) グループメンバーの貢献度を評価する。(PR-04, PR-06) 4) 学生間でプレゼンテーションを評価し合う。(PR-04, PR-06)
1月14日	田谷 雄二 スタッフ	ユニット14：総括	1) 個人学習とグループ学習を対比する。(PR-04) 2) 主体的・対話的な深い学びについて説明する。(CM-02) 3) 学習の過程・成果・技能を自己評価する。(PR-04, PR-06) 4) 授業全体を振り返る。(PR-04, PR-06, LL-01)

# 化学実習

火曜日 13:10~16:20  
木曜日 13:10~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

化学実験を行うことにより、実験器具・機器の取り扱い操作を習得するとともに、実験結果と理論の関係を理解し、生化学・薬理学などの歯学基礎分野を学ぶ上で必要な化学知識を身につける。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
傘 孝之, 柴田 潔	化学実験	第6版	日本歯科大学

## 担当者一覧

戸円智幸, 豊田健介, 三橋扶佐子, 瀬戸口隆司

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [--%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [--%]       レポート [60%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [30%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (小テスト [10%])

## オフィスアワー

日時: 毎週水曜日 16:30~18:00  
場所: 本館6階 自然科学教室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
10月13日	戸円 智幸	ユニット1: 化学実験の安全指針	1) 実験を安全に実施するための指針を説明する。 2) 化学物質等安全データシートを説明する。 3) 薬品等の廃液処理方法を説明する。 4) 化学実習レポートの書き方を述べる。 5) マイクロピペットと化学天秤の使い方を習得する。
10月8日	戸円 智幸	ユニット2: アスピリンの合成	1) 基本的な実験器具の使い方を説明する。 2) フローチャートの作成について説明する。 3) アスピリンの合成法を説明する。(A-1-1-2) 4) アセチル化を説明する。(A-1-1-2) 5) 結晶生成物の分離を実施する。
10月15日	戸円 智幸	ユニット3: アセトアニリドの合成	1) アセトアニリドの合成法を述べる。(A-1-1-2) 2) エステル化とアミド化の違いを説明する。(A-1-1-2) 3) ガスバーナーの使い方と注意事項を説明する。 4) 再結晶による精製を実施する。
10月22日	戸円 智幸	ユニット4: NMR (核磁気共鳴) スペクトルの原理	1) NMRスペクトルの原理を説明する。(A-1-1-3) 2) ケミカルシフトと多重度を説明する。(A-1-1-2) 3) NMRスペクトルチャートの解析法を説明する。 4) 化合物のNMR測定例のデータを解析し化学構造を推定する。 5) MRI (核磁気共鳴画像) の医学分野への応用を説明する。(D-2-5-9)
10月29日	戸円 智幸	ユニット5: IR (赤外線吸収分光) スペクトルの原理	1) 赤外線および電磁波について説明する。(A-1-1-3) 2) IRスペクトルの原理を説明する。(A-1-1-3) 3) IRスペクトルより得られたデータの解析法を説明する。 4) 化合物のIR測定例のデータを解析し化学構造を推定する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
11月5日	戸円 智幸	ユニット6：合成したアスピリンのNMRによるスペクトル測定と解析	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) NMRの測定法を説明する。(A-1-1-2)</li> <li>2) 合成したアスピリンをNMRでスペクトルを測定する。(A-1-1-2)</li> <li>3) 得られたスペクトルのチャートを解析する。</li> <li>4) 合成したアスピリンの純度を調べる。</li> <li>5) NMRに関する小テストを行う。</li> </ol>
11月12日	戸円 智幸	ユニット7：合成したアセトアニリドのIRによるスペクトル測定と解析	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) IRの測定法を説明する。(A-1-1-2)</li> <li>2) 合成したアセトアニリドをIRでスペクトルを測定する。(A-1-1-2)</li> <li>3) 得られたスペクトルのチャートを解析する。</li> <li>4) 合成したアセトアニリドの純度を調べる。</li> <li>5) IRに関する小テストを行う。</li> </ol>
11月19日	戸円 智幸	ユニット8：中和滴定	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 中和滴定の原理と中和の公式を説明する。(A-1-1-2)</li> <li>2) pHメータの使い方を習得する。</li> <li>3) 中和滴定により未知濃度の水酸化ナトリウム溶液のモル濃度を求める。(A-1-1-2)</li> <li>4) 算出した水酸化ナトリウム溶液を用いて中和滴定により市販の食酢中の酢酸のモル濃度を求める。</li> </ol>
11月26日	三橋扶佐子	ユニット9：アミノ酸の呈色反応とTLCによる分離	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) TLC（薄層クロマトグラフィー）の操作方法，原理を説明する。</li> <li>2) アミノ酸の化学構造と性質について説明する。(A-1-2-1)</li> <li>3) アミノ酸の呈色反応について説明する。(A-1-2-1)</li> <li>4) 未知試料に含まれる複数のアミノ酸をTLCと呈色反応によって推測する。</li> </ol>
12月3日	戸円 智幸	ユニット10：緩衝溶液	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 緩衝溶液の緩衝作用について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>2) 酸性溶液，塩基性溶液，緩衝溶液を希釈した時のpHの変化について調べる。</li> <li>3) 精製水，酢酸溶液，酢酸緩衝液に塩基を加えたときのpHの変化について調べる。</li> </ol>
12月10日	三橋扶佐子	ユニット11：糖の定性分析	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 単糖，二糖，多糖について説明する。(A-1-2-2)</li> <li>2) 糖の還元性について説明する。(A-1-2-2)</li> <li>3) 銀鏡反応で糖の還元性を調べる。(A-1-2-2)</li> <li>4) ベネジクト反応で糖の還元性を調べる。(A-1-2-2)</li> <li>5) ヨウ素反応で糖の構造の違いを推測する。</li> </ol>
12月17日	戸円 智幸	ユニット12：立体化学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 立体異性体の種類について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>2) MOL-TALOU分子モデルについて説明する。</li> <li>3) Fischerの投影図を作成し，DL表示およびRS表示を推測する。(A-1-1-2)</li> <li>4) ニューマンの投影図を作成し，エクリップス配座とスタッガード配座を理解する。(A-1-1-2)</li> </ol>
1月7日	戸円 智幸	ユニット13：重量分析(歯中のCaの定量)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯中のカルシウムの定量分析から，歯の溶解法を説明する。(A-1-1-1)</li> <li>2) 溶解した歯のカルシウム分の沈殿生成操作を述べる。(A-1-1-2)</li> <li>3) 生成した沈殿物の中からカルシウム分のみを分別する試薬および操作を説明する。(A-1-1-2)</li> </ol>
1月14日	戸円 智幸	ユニット14：総括	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実習を振り返り，化学実験で学んだ内容を整理し再確認する。</li> </ol>



## 本学期的学習目標 (GIO)

生化学・生理学・薬理学などの専門分野を理解する上で必要な緩衝溶液, 立体化学, アミノ酸, 糖, 脂質, 核酸および芳香族化合物などの事項を中心に修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
齋藤勝浩	メディカル化学	改訂 第1版	裳華房

## 担当者一覧

戸円智幸

## 学習方略

- 講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [50%]     論述試験 [50%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 毎週水曜日 16:30~18:00  
 場所: 本館6階 自然科学教室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
10月2日	戸円 智幸	ユニット1: 緩衝溶液-1	1) 緩衝作用について説明する。(A-1-1-2) 2) 弱酸とその塩および弱塩基とその塩からなる緩衝溶液の緩衝作用を説明する。(A-1-1-2) 3) Henderson-Hasselbalchの式について説明する。(A-1-1-2) 4) 弱酸とその塩からなる緩衝溶液のpHの算出方法を説明する。(A-1-1-2)
10月9日	戸円 智幸	ユニット2: 緩衝溶液-2	1) 弱塩基とその塩からなる緩衝溶液のpHの算出方法を説明する。(A-1-1-2) 2) 緩衝液に酸あるいは塩基を加えた時のpHの変化について説明する。(A-1-1-2) 3) 酸性溶液, 塩基性溶液および緩衝溶液を希釈した時のpHの変化について説明する。(A-1-1-2) 4) 血液中, 唾液中の緩衝作用について説明する。
10月16日	戸円 智幸	ユニット3: 立体化学-1	1) 立体異性体の分類について説明する。(A-1-1-2) 2) エナンチオマーとジアステレオマーの構造的特徴を説明する。(A-1-1-2) 3) Fischer投影図を説明する。(A-1-1-2) 4) D, L表示を説明する。(A-1-1-2) 5) R, S表示を説明する。(A-1-1-2)
10月23日	戸円 智幸	ユニット4: 立体化学-2	1) 配座異性体の構造的特徴を説明する。(A-1-1-2) 2) ニューマン投影図を説明する。(A-1-1-2) 3) エクリプス配座とスタッガード配座を説明する。 4) シクロヘキサンの舟形とイス形を説明する。
10月30日	戸円 智幸	ユニット5: アミノ酸とタンパク質の構造と機能	1) アミノ酸の構造と性質を説明する。(A-1-2-1) 2) 必須アミノ酸名を説明する。(A-1-2-1) 3) アミノ酸の等電点とイオン形について説明する。 4) アミノ酸とタンパク質の呈色反応を説明する。 5) タンパク質の性質と高次構造について説明する。(A-1-2-1)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SBOs)
11月6日	戸円 智幸	ユニット6：単糖類の構造と性質	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 単糖の構造と分類について説明する。(A-1-2-2)</li> <li>2) グルコースの<math>\alpha</math>-、<math>\beta</math>-アノマー構造とヘミアセタール構造について説明する。(A-1-2-2)</li> <li>3) ハースの構造式について説明する。</li> <li>4) 糖の還元性と確認試験について説明する。(A-1-2-2)</li> <li>5) 糖アルコールについて説明する。(A-1-2-2)</li> </ol>
11月13日	戸円 智幸	ユニット7：二糖類と多糖類の構造と性質	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) スクロースの性質及び化学構造を記述する。(A-1-2-2)</li> <li>2) 他の二糖類についてその構造的な違いを説明する。(A-1-2-2)</li> <li>3) 多糖類を列挙し構造や性質について説明する。(A-1-2-2)</li> <li>4) ヨウ素反応について説明する。(A-1-2-2)</li> </ol>
11月20日	戸円 智幸	ユニット8：ベンゼンの構造とベンゼン誘導体	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ベンゼンの共鳴構造と共鳴混成体について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>2) 芳香族性とそれに基づく化学的性質を説明する。(A-1-1-2)</li> <li>3) 主な芳香族化合物を列挙する。</li> <li>4) ベンゼン誘導体の命名法、慣用名を説明する。</li> <li>5) ベンゼン誘導体の位置異性体について説明する。</li> </ol>
11月27日	戸円 智幸	ユニット9：芳香族化合物の種類と性質	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 共役と共鳴について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>2) ベンゼンの求電子置換反応 (<math>S_E</math>反応) を説明する。</li> <li>3) ベンゼンのニトロ化、スルホン化、アルキル化、ハロゲン化について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>4) 主な芳香族化合物の構造と性質について説明する。(A-1-1-2)</li> </ol>
12月4日	戸円 智幸	ユニット10：芳香族化合物の反応性と配向性	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 活性基 (電子供与置換基) について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>2) 不活性基 (電子吸引置換基) について説明する。</li> <li>3) 共鳴効果 (R効果) について説明する。(A-1-1-2)</li> <li>4) 一置換および二置換ベンゼンの反応性と配向性について説明する。(A-1-1-2)</li> </ol>
12月11日	戸円 智幸	ユニット11：化学熱力学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 熱力学第一法則と第二法則を説明する。(A-1-1-3)</li> <li>2) エンタルピーとエントロピーについて説明する。</li> <li>3) 反応エンタルピーによる熱化学方程式の表し方について説明する。(A-1-1-3)</li> <li>4) ギブス自由エネルギーによる化学反応の方向性について説明する。(A-1-1-3)</li> </ol>
12月18日	戸円 智幸	ユニット12：反応速度論と酵素反応	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 反応速度の表し方について説明する。(A-1-1-3)</li> <li>2) 0次反応, 1次反応, 2次反応について説明する。</li> <li>3) 酵素反応の特徴を説明する。(A-1-2-1)</li> <li>4) Michaelis-Mentenの式を説明する。(A-1-1-3)</li> <li>5) Lineweaver-Burkプロット法について説明する。</li> </ol>
1月8日	戸円 智幸	ユニット13：脂質と複素環化合物	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 脂質の構造と性質について説明する。(A-1-2-3)</li> <li>2) 脂肪酸の分類と命名法について説明する。</li> <li>3) 脂肪酸の略記 (<i>cis-trans</i>, <math>\Delta</math>, <math>\omega</math>, n-系) について説明する。(A-1-2-3)</li> <li>4) 中性脂肪 (トリグリセリド) について説明する。</li> <li>5) グリセロリン脂質 (細胞膜) について説明する。</li> <li>6) 複素環化合物について説明する。</li> </ol>
1月15日	戸円 智幸	ユニット14：核酸の構造と塩基対	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 核酸について説明する。(A-1-3-2)</li> <li>2) DNAとRNAの構造の違いについて説明する。</li> <li>3) N-グリコシド結合について説明する。</li> <li>4) ホスホジエステル結合について説明する。</li> <li>5) 二重らせん構造を説明する。(A-1-3-2)</li> <li>6) DNAとRNAの安定性の違いについて説明する。</li> </ol>

# 発生と再生

水曜日 10:40~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

iPS細胞の登場により再生医療が加速する医学・医療に対し、歯科医学・歯科医療は材料主体の修復・補綴治療が続いている。本科目は、細胞を活用した再生医療を創造する「発生と再生」の接点と臨床的意義を知り、本学独自の再生医療の実現にむけて、学生一人ひとりが担うべき“生命歯学”の意味を認識する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

	各ユニット担当者が必要に応じ資料を配付する		
--	-----------------------	--	--

## 担当者一覧

中原 貴, 井出吉昭, 望月真衣, 小林朋子

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [70%]     論述試験 [30%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 水曜日 16:30~18:30

場所: 100周年記念館6階 発生・再生医科学講座 第1研究室/本館3階 解剖学第1講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
10月2日	井出 吉昭	ユニット1: 頭頸部発生を学ぶための解剖学 1	1) 頭蓋骨の名称を列記する。(A-3-2-2) 2) 脳神経の名称を列記する。(A-3-2-6)
10月9日	井出 吉昭	ユニット2: 頭頸部発生を学ぶための解剖学 2	1) 主要な頭蓋骨 (上顎骨, 下顎骨, 側頭骨, 蝶形骨など) の部位の名称を列記する。(A-3-2-2) 2) 口腔とその周囲 (鼻腔, 咽頭など) とのつながりを説明する。(A-3-2-12, A-3-2-13, A-3-3-1, A-3-3-8)
10月16日	井出 吉昭	ユニット3: 頭頸部発生を学ぶための解剖学 3	1) 脳神経が通る経路を説明する。(A-3-2-6) 2) 主要な脳神経 (三叉神経, 顔面神経, 舌咽神経, 迷走神経など) の走行と役割を説明する。(A-3-2-6) 3) 筋の起始・停止・作用の概念を説明する。(A-3-2-3)
10月23日	井出 吉昭	ユニット4: 頭頸部発生を学ぶための解剖学 4	1) 主要な頭頸部の筋 (咀嚼筋, 舌骨上筋など) を説明する。(A-3-2-3)
10月30日	小林 朋子	ユニット5: 初期発生のプロセス	1) 個体発生のプロセスを説明する。(A-2-1-1) 2) 三胚葉を説明する。(A-2-1-1) 3) 神経堤細胞について説明する。(A-2-1-1) 4) 鰓弓由来の組織を列記する。(A-2-1-2, A-2-4-2)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SB0s)
11月6日	望月 真衣	ユニット6：口腔顎顔面組織の発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 上皮と間葉を理解する。(A-2-4-1)</li> <li>2) 口腔組織の各部位の名称を列記し、構成する細胞を説明する。(A-2-4-1)</li> <li>3) 舌の発生を説明する。(A-2-4-2)</li> <li>4) 顔面・口唇・口蓋の形成プロセスを述べる。(A-2-4-3)</li> <li>5) 顔面・口唇・口蓋の形成異常を説明する。(A-2-4-4, D-3-1-1-1, D-3-1-1-2)</li> </ul>
11月13日	望月 真衣	ユニット7：歯と歯周組織の発生 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯と歯周組織の各部位の名称を列記し、構成する細胞を説明する。(A-2-4-1, A-3-3-1)</li> <li>2) 歯と歯周組織の発生学的由来を説明する。(A-2-4-1)</li> </ul>
11月20日	望月 真衣	ユニット8：歯と歯周組織の発生 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯と歯周組織の発生ステージを理解し、その発生メカニズムを説明する。(A-2-4-1)</li> </ul>
11月27日	中原 貴	ユニット9：歯の再生に挑む 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 再生医療による歯の欠損治療の必要性を具体的に述べる。(PR-02, RE-03)</li> <li>2) 現在の歯の再生研究を具体的に説明する。(RE-05)</li> <li>3) 歯の再生に必要な理論を系統立てる。(RE-04)</li> </ul>
12月4日	中原 貴	ユニット10：歯の再生に挑む 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 現代の歯の欠損治療の問題点について指摘する。(RE-03, RE-04, RE-05)</li> <li>2) 新たな歯の再生法について具体的に述べる。(RE-02, RE-04, RE-05)</li> <li>3) 未来の歯の再生医療の実現性を感じる。(RE-01, RE-03, RE-04)</li> </ul>
12月11日	中原 貴	ユニット11：歯の再生に挑む 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 再生医療における生命歯学の意義を認識する。(PR-01, PR-02, PR-04, PR-06, RE-01)</li> <li>2) 生命歯学に立脚した本学独自の再生医療を創造する。(PR-01, RE-01, RE-02, RE-03, RE-04, RE-05)</li> </ul>
12月18日	望月 真衣	ユニット12：多能性幹細胞と組織幹細胞	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 幹細胞の役割を知り、分類する。(A-2-1-5, A-5-3-1)</li> <li>2) 各幹細胞の特徴を比較し、リスクを分類する。(A-2-1-5)</li> <li>3) 幹細胞の臨床・研究への応用例を述べる。(A-5-3-1)</li> <li>4) 歯科における将来的な再生医療を創造する。(RE-03)</li> </ul>
1月8日	小林 朋子	ユニット13：細胞培養と再生医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 細胞培養の基礎を理解する。(RE-02)</li> <li>2) 本学細胞培養加工施設 (CPF) における細胞培養の実際について具体的に説明する。(E-1-1-4)</li> <li>3) 研究用と臨床用の細胞培養の違いを理解する。(C-1-1-2)</li> </ul>
1月15日	小林 朋子	ユニット14：再生医療の関係法令と細胞治療の実際	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 再生医療の概要と意義を述べる。(S0-03)</li> <li>2) 現行の再生医療とその関係法令について知る。(PS-10)</li> <li>3) 安全な再生医療を遂行する細胞治療法を説明する。(C-1-1-6)</li> </ul>

# 行動科学

水曜日 13:10~14:40

## 本学期的学習目標 (GIO)

将来、望ましい医療者として、他者と共にこころ豊かに生きるために、人間の行動にかかわる諸理論を学び、その理論を基盤としたヒューマン・スキルに関する知識、技能、態度を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

	各授業時の配布資料		
--	-----------	--	--

## 担当者一覧

俣木志朗

## 学習方略

- 講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [80%]     論述試験 [20%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( )

## オフィスアワー

日時: 毎回授業終了後 14:40~14:50

場所: 記念館4階 141講堂

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
10月2日	俣木 志朗	ユニット1: 他己紹介 (演習)	1) 「聴く」「話す」「表現する」を実践する。 2) 対人関係における自己開示を体験する。 3) 収集した情報を的確に要約する。 4) 要約した内容を簡潔に発表する。
10月9日	俣木 志朗	ユニット2: 望ましい学習活動 I (演習)	1) 各自の望ましい学習体験を振り返る。 2) 各自の学習体験を説明する。 3) 学習のプロセスを説明する。 4) カリキュラムについて概説する。 5) 望ましい学習活動の持つべき特徴を説明する。
10月16日	俣木 志朗	ユニット3: 望ましい学習活動 II (演習)	1) 各自の学習体験を説明する。 2) 学習目標を説明する。 3) 効果的な学習方略を説明する。 4) 学習評価について概説する。 5) 成人学習理論を説明する。
10月23日	俣木 志朗	ユニット4: 医療におけるコミュニケーション (一部演習)	1) 各自のコミュニケーションタイプを知る。(D-2-1) 2) コミュニケーションスキルを説明する。(D-2-1-1) 3) コミュニケーションスキルの基本を体験する。(D-2-1) 4) 対人関係における気づきを説明する。 5) ジョハリの窓の意義を説明する。
10月30日	俣木 志朗	ユニット5: 行動科学の基礎 I	1) 行動科学について概説する。(C-5-6) 2) 行動の生物学的基盤を説明する。 3) 医療における行動科学を説明する。(C-5-6) 4) レスポンデント条件付けを説明する。 5) オペラント条件付けを説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
11月6日	俣木 志朗	ユニット6：行動科学の基礎Ⅱ	1) 各種学習理論（連合説と認知説）を概説する。 2) 社会的学習を説明する。 3) モデリングを説明する。 4) 観察学習を説明する。 5) 模倣学習を説明する。
11月13日	俣木 志朗	ユニット7：ストレスⅠ	1) 生体の恒常性を説明する。(A-3-1-9) 2) 自律神経系の機能を説明する。(A-3-1-5-3) 3) ストレスについて説明する。(A-3-1-9) 4) ストレスの免疫系への影響を説明する。(A-3-1-9) 5) ストレスの内分泌系への影響を説明する。(A-3-1-9)
11月20日	俣木 志朗	ユニット8：ストレスⅡ	1) ストレス対処法について概説する。(C-4-5) 2) SOCを説明する。(C-4-5) 3) 健康生成論と疾病生成論を説明する。(C-4-1)
11月27日	俣木 志朗	ユニット9：行動変容Ⅰ	1) 行動変容ステージモデルを説明する。 2) 健康信念モデルを説明する。(C-4-1)
12月4日	俣木 志朗	ユニット10：行動変容Ⅱ	1) 認知行動療法について説明する。 2) 歯科恐怖症患者の治療を説明する。 3) 動機づけ面接について説明する。(C-5-6)
12月11日	俣木 志朗	ユニット11：医療における人間関係Ⅰ 患者－医療者関係	1) 医療における役割理論を説明する。(C-1-1) 2) 患者－医療者関係の類型を説明する。(C-1-1) 3) 患者の意思決定パターンを説明する。(C-1-1-3) 4) セカンドオピニオンを説明する。(C-1-1-4)
12月18日	俣木 志朗	ユニット12：医療における人間関係Ⅱ チーム医療・リーダーシップ論	1) チーム医療の概念・意義を説明する。(C-1-3-1) 2) チーム構成員が担う役割・機能を説明する。(C-1-3-2, C-1-3-3) 3) リーダーシップ理論の歴史的変遷を概説する。 4) 状況に応じたリーダーシップを説明する。(C-1-3)
1月8日	俣木 志朗	ユニット13：医療における人間関係Ⅲ 医療面接・	1) 医療面接の役割を説明する。(D-2-1) 2) 効果的な質問法を説明する。(D-2-1-1) 3) コミュニケーションスキルを実践する。(D-2-1) 4) 適切な敬語を使用する。(D-2-1)
1月15日	俣木 志朗	ユニット14：行動科学の総括および 全人的医療の実践	1) 全人的医療の実践における行動科学の意義を説明する。(C-5-6)

# 生命歯学概論

木曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

生命歯学学習の意義を理解するために、歯学生として歯科医学の流れを学び、健康に暮らしていくための口腔の重要性を知る。さらに今後、臨床系科目を十分に理解するための教養・基礎系科目学習の重要性も認識する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
石井拓男, 渋谷 鈺, 西巻明彦	スタンダード歯科医学史		学建書院
中原 泉	歯科医学史の顔		学建書院
日本歯科大学	中原市五郎の日本食養道		

## 担当者一覧

内川喜盛, 三代冬彦, 西巻明彦, 前野雅彦, 加藤雄一, 沼部幸博, 里見貴史, 菊谷 武, 小倉 晋, 新谷明一, 石田祥己, 松野智宣

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [75%]     論述試験 [20%]     口頭試験 [--%]     レポート [5%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席, 服装, 頭髪, 髪の毛の色を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 木曜日講義終了時に担当者へ確認  
 場所: 各担当教員研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
10月3日	三代 冬彦	ユニット1: 予防医学	1) 予防医学の重要性を説明する。(S0-02) 2) 一次・二次・三次 予防について説明する。(C-5-1) 3) 健康寿命の延伸の利点を述べる。(C-6-2-3) 4) 生活習慣病とその原因となる生活習慣を関係づける。(A-5-1-2, C-4-5-1) 5) 健康づくり運動の流れを説明する。(S0-02) 6) 個別化予防の今後の展望を述べる。(S0-02)
10月10日	西巻 明彦	ユニット2: 歯科医学史 (1)	1) 歯科医学史の始まりについて説明する。(PR-01) 2) ヒポクラテスと近代医学について述べる。(PR-01) 3) 古代・中世の歯科医学史について述べる。(PR-01) 4) 歴史の重要性について述べる。(PR-01)
10月17日	西巻 明彦	ユニット3: 歯科医学史 (2)	1) 近代外科学の発達について述べる。(PR-01) 2) フォシヤールについて説明する。(PR-01) 3) 19世紀の歯科医学史を述べる。(PR-01) 4) 疾病からの社会防衛について説明する。(PR-01, S0-02)
10月24日	西巻 明彦	ユニット4: 歯科医学史 (3)	1) 歯科医療文化と世界遺産について述べる。(PR-01) 2) 歯科医学教育の始まりについて述べる。(PR-01) 3) 日本歯科大学の始まりについて説明する。(PR-01) 4) 中原市五郎著「日本食養道」について述べる (PR-01)
10月31日	前野 雅彦	ユニット5: う蝕	1) できかた(発症メカニズム)を述べる。(D-3-2-1) 2) 状態(臨床像)によってう蝕を分類する。(D-3-2-1) 3) MIに基づく基本的処置を説明する。(D-5-2-1-2) 4) 状態に応じた基本的処置を述べる。(D-5-2-1-1)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SB0s)
11月7日	加藤 雄一	ユニット6：口腔小児科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 小児歯科と成人歯科の相違を説明する。(D-5-6)</li> <li>2) 小児期を分類する。(A-2-2)</li> <li>3) 乳歯と永久歯の相違を述べる。(A-3-4-4)</li> <li>4) 小児齲蝕の予防法を説明する。(E-5-5)</li> <li>5) 小児歯科学に関わる基礎系科目の学習内容を列記する。(C-2-1)</li> </ul>
11月14日	沼部 幸博	ユニット7：歯周病	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯周組織の構造を説明する。(A-3-4-7)</li> <li>2) 歯周病, 歯髄・根尖歯周疾患の臨床症状を列記する。(D-3-2-2, D-3-2-3)</li> <li>3) 歯周病, 歯髄・根尖歯周疾患の原因を説明する。(D-3-2-2, D-3-2-3)</li> <li>4) 歯周治療, 歯髄・根尖歯周疾患治療の基本概念を述べる。(D-5-2-2-1, D-5-2-3-2)</li> <li>5) 歯周病, 歯髄・根尖歯周疾患の予防の基本概念を述べる。(D-3-2-2, D-3-2-3)</li> </ul>
11月21日	里見 貴史	ユニット8：口腔外科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 口腔領域の疾患を類別する。(A-3-3-1, D-3-1-1~11)</li> <li>2) 代表的な疾患の概要を説明する。(D-3-1-1~11)</li> <li>3) 関連する教養・基礎系科目の学習内容を具体的に述べる。(LL-01, LL-04)</li> </ul>
11月28日	内川 喜盛	ユニット9：障害児・者の口腔健康管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 障害を説明する。(D-5-8-1, 2, 3)</li> <li>2) 福祉からみた障害の分類を列記する。(D-5-8-1, 2, 3)</li> <li>3) 障害児・者の歯科的特徴を説明する。(D-5-8-1, 2, 3, 4)</li> <li>4) 障害児・者の歯科治療の特徴を説明する。(D-5-8-1, 2, 3, 4)</li> </ul>
12月5日	菊谷 武	ユニット10：口腔リハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 口腔機能について列記する。(A-3-3-3~8)</li> <li>2) 口腔機能低下の原因を説明する。(D-3-1-11-2~5, D-5-7-4)</li> <li>3) 口腔機能の低下の原因とリハビリテーションの基礎を説明する。(D-3-1-11-2~5, D-5-7-8, D-5-8-5)</li> <li>4) 口腔リハビリテーションに関わる基礎系科目の学習内容を列記する。(LL-01, LL-04)</li> </ul>
12月12日	小倉 晋	ユニット11：再生医学とインプラント	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 再生医学の概要を述べる。(C-1-1-6)</li> <li>2) 再生医療の臨床的意義を説明する。(C-4-1-2)</li> <li>3) インプラント治療の意義を述べる。(D-5-3-3-1)</li> <li>4) インプラント治療の流れを説明する。(D-5-3-3-3)</li> </ul>
12月19日	新谷 明一	ユニット12：欠損と咬合	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 健康, 医療, 福祉における咀嚼機能の重要性とその意義の概要を説明する。(A-3-2-10)</li> <li>2) 歯の喪失により損なわれた咬合を回復し, 維持するための補綴の概要を説明する。(D-5-3-1-1, D-5-3-2-1)</li> <li>3) 補綴装置の種類を説明する。(D-5-3-1-2, D-5-3-2-2)</li> </ul>
1月9日	石田 祥己	ユニット13：修復治療を支える材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 成形充填材を類別する。(B-2-1)</li> <li>2) 築造用材料を述べる。(B-2-1, B-2-2)</li> <li>3) 歯冠修復材料を説明する。(B-2-2)</li> <li>4) 合着材・接着材を類別する。(B-2-3)</li> </ul>
1月16日	松野 智宣	ユニット14：医療事故・医事紛争	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 医療事故と医療過誤の違いを説明する。(C-3-2-1)</li> <li>2) 医療事故調査制度理解している。(C-3-2-2)</li> <li>3) 薬物有害作用報告を理解している。(C-3-2-3)</li> <li>4) 医療事故の原因, 対応, 防止策を立案できる。(C-3-1-1)</li> <li>5) 健康被害救済制度を説明する。(C-3-2-6)</li> <li>6) 歯科における医事紛争の特徴を述べる。(C-1-2-5)</li> </ul>



# 歯の解剖学

木曜日 10:40~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

口腔における歯の役割を理解するために、永久歯と乳歯の歯冠および歯根形態と機能との関連性についての基本的知識を修得し、歯のもつ解剖学的重要性を理解する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
菊池憲一郎・影山幾男・春原正隆 編著	歯の解剖学と歯型彫刻法	第1版	(株)永末書店
藤田恒太郎	歯の解剖学	第22版	金原出版(株)

## 担当者一覧

春原正隆, 菊池憲一郎, 池田利恵, 小川清美

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [60%]     論述試験 [30%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 (プレ・ポストテスト [10%])

## オフィスアワー

日時: 毎週木曜日 16:30~18:00

場所: 本館3階 解剖学第1講座研究室, 本館6階 解剖学第2講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
10月3日	春原 正隆	ユニット1: オリエンテーション, 歯の総論	1) 歯の解剖学の概要を説明する。(C-2-1) 2) 歯の定義について説明する。(A-3-4-1, A-3-4-4)
10月10日	菊池憲一郎	ユニット2: 歯の萌出	1) 歯の萌出期について説明する。(A-2-4-1, A-3-4-1) 2) 歯の萌出を引き起こす要因について説明する。(A-2-4-1, A-3-4-1) 3) 乳歯の脱落について説明する。(A-3-4-1)
10月17日	池田 利恵	ユニット3: 歯と歯周組織	1) 歯を構成する組織名を列記する。(A-3-4-4) 2) 歯の組織構造を説明する。(A-3-4-4) 3) 歯周組織を列記する。(A-3-4-5, A-3-4-7) 4) 歯周組織の構造を説明する。(A-3-4-7)
10月24日	小川 清美	ユニット4: 歯冠の形態	1) 永久歯の歯冠の形態について, 模式図を用いて説明する。(A-3-4-2)
10月31日	小川 清美	ユニット5: 歯根と歯髄(腔)の形態	1) 永久歯の歯根と歯髄(腔)の形態について, 模式図を用いて説明する。(A-3-4-2)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11月7日	小川 清美	ユニット6：歯の部位の名称と歯の記号と表記	1) 歯の部位の名称を述べる。(A-3-4-2) 2) 歯の方向用語を列記する。(A-3-4-2) 3) 各歯に対応する略号および記号を列記する。(A-3-4-2)
11月14日	小川 清美	ユニット7：歯種別の特徴（1）	1) 上顎永久歯の解剖学的特徴について、模式図を用いて説明する。(A-3-4-2)
11月21日	小川 清美	ユニット8：歯種別の特徴（2）	1) 上顎永久歯の解剖学的特徴について、模式図を用いて説明する。(A-3-4-2)
11月28日	小川 清美	ユニット9：歯種別の特徴（3）	1) 下顎永久歯の解剖学的特徴について、模式図を用いて説明する。(A-3-4-2)
12月5日	小川 清美	ユニット10：歯種別の特徴（4）	1) 下顎永久歯の解剖学的特徴について、模式図を用いて説明する。(A-3-4-2)
12月12日	小川 清美	ユニット11：乳歯と永久歯の違い	1) 乳歯と永久歯の大きさ、形、配列を説明する。(A-3-3-5, A-3-4-2) 2) 乳歯と永久歯の組織構造を比較する。(A-3-4-4, A-3-4-5)
12月19日	小川 清美	ユニット12：歯列と咬合	1) 歯の特有の形態、歯列上の位置の区別を関係づける。(A-3-3-5, A-3-4-2) 2) 歯列の接触点、鼓形空隙、歯隙間を説明する。(A-3-3-5) 3) 歯列弓を説明する。(A-3-3-5) 4) 上下歯列弓の関係を説明する。(A-3-3-5)
1月9日	小川 清美	ユニット13：歯の異常	1) 歯数の過剰、歯数の不足について説明する。(A-3-4-3) 2) 歯の大きさの異常、歯冠部の異常結節について説明する。(A-3-4-6) 3) 歯根部の異常について説明する。(A-3-4-6) 4) 萌出の異常について説明する。(A-3-4-3) 5) 位置の異常について説明する。(A-3-4-3)
1月16日	小川 清美	ユニット14：演習	1) 学習内容を再確認し、問題解決に対応できる知識を説明する。(C-2-1, C-2-3, C-2-4) 2) 修得した知識を記述する。(C-2-6)

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師としてEBM (Evidence Based Medicine) の実践に必要な統計学の知識を修得する。すなわち、生涯にわたって予防、診断、予後判定、治療に関する情報を吸収し、質の高い医療を提供していくために必須である統計学的手法を身につける。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

安井利一 監修  
尾崎哲則 編集

わかりやすいビジュアル歯科保健医療統計学

第1版第9刷

医歯薬出版  
株式会社

## 担当者一覧

一宮頼子

## 学習方略

- 講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [90%]     論述試験 [10%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 授業終了後  
場所: 本館5階衛生学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
10月4日	一宮 頼子	ユニット1: 統計学とは	1) 歯科における統計学の役割を述べる。(C-6-1-1) 2) 統計学から明らかになった過去の事例を列挙する。(C-6-1-1) 3) 因果関係について説明する。(C-6-2-4)
10月11日	一宮 頼子	ユニット2: 研究法	1) 因果関係究明の手順を具体的に述べる。(C-6-2-4) 2) 研究方法を対比する。(C-6-2-4) 3) 研究法の応用例を列挙する。(C-6-2-4)
10月18日	一宮 頼子	ユニット3: 保健統計指標	1) 比と率の違いを説明する。(C-6-2-4) 2) 罹患率と有病率を対比する。(C-6-2-4) 3) 人年法を理解する。(C-6-2-4) 4) 研究方法とリスク評価の指標を関係付ける。(C-6-2-4)
10月25日	一宮 頼子	ユニット4: リスク評価	1) 相対危険, 寄与危険, オッズ比の違いを説明する。(C-6-2-4) 2) 相対危険, 寄与危険, オッズ比を用いてリスクを評価する。(C-6-2-4)
11月1日	一宮 頼子	ユニット5: 基本的な統計値	1) 代表値としての平均値, 中央値, 最頻値の違いを説明する。(C-6-2-4) 2) 標準偏差, 標準誤差を対比する。(C-6-2-4) 3) 四分位偏差を応用する。(C-6-2-4)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11月8日	一宮 頼子	ユニット6：推定	1) 正規分布の特性について具体的に述べる。(C-6-2-1) 2) 点推定と信頼区間について説明する。(C-6-2-1) 3) t分布と $\chi^2$ 分布を対比する。(C-6-2-1)
11月15日	一宮 頼子	ユニット7：統計学的推論Ⅰ	1) 背理法を説明する。(C-6-2-1) 2) 検定の手順を具体的に述べる。(C-6-2-1)
11月22日	一宮 頼子	ユニット8：統計学的推論Ⅱ	1) 母平均の検定法を述べる。(C-6-2-1) 2) 対応のない平均値の差の検定法を記述する。(C-6-2-1) 3) 対応のある平均値の差の検定法を記述する。(C-6-2-1)
11月29日	一宮 頼子	ユニット9：統計学的推論Ⅲ	1) 適合度の判定法を応用する。(C-6-2-1) 2) 独立性の検定法を適用する。(C-6-2-1)
12月6日	一宮 頼子	ユニット10：相関	1) 散布図から2つの変量間の関連性を推察する。(C-6-2-4) 2) 相関係数を求める方法を記述する。(C-6-2-4) 3) 相関係数の有意性を検定する方法を述べる。(C-6-2-4)
12月13日	一宮 頼子	ユニット11：スクリーニング	1) スクリーニングの実施上の原則を述べる。(C-6-1-2) 2) スクリーニング検査の妥当性を感度、特異度を用いて検討する。(C-6-1-2) 3) カットオフポイントを判断する。(C-6-1-2) 4) ROC曲線を説明する。(C-6-1-2)
12月20日	一宮 頼子	ユニット12：EBM	1) EBMの概念を説明する。(C-6-1-1) 2) バイアスと、その除去法について具体的に述べる。(C-6-1-1) 3) 交絡因子と、その除去法について判断する。(C-6-1-1)
12月24日	一宮 頼子	ユニット13：口腔保健における護るべき規範	1) 倫理について理解する。(C-1-1-1) 2) インフォームド・コンセント、個人情報の保護を説明する。(C-1-1-4) 3) 倫理指針を具体的に述べる。(C-1-1-5), (C-1-1-6)
1月10日	一宮 頼子	ユニット14：総括	学習内容を整理・再確認し、問題解決に対応できる知識を習得する。

## 本学期的学習目標 (GIO)

国際社会に適応する歯科医師になるために、医療現場に必要な英語によるコミュニケーション能力を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
日本医学英語教育学会編	医学・医療系学生のための 総合医学英語テキスト Step1	第一版	メジカルビュー社
Vivian Morooka他	ホスピタル・イングリッシュ (改訂版) Vital Signs [Revised Edition]		南雲堂

## 担当者一覧

横山知美, 石田祥己, 三浦大輔

## 学習方略

- 講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [40%]     論述試験 [30%]     口頭試験 [--%]     レポート [30%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 授業終了後~13:00

場所: 141講堂, 本館4階歯科理工学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
10月4日	横山 知美	ユニット1: Directions	1) 施設や方向, 位置を表す言葉について, 英語で列挙する。(A-7-2)-①, ②, ③ 2) 病院内での会話について, 英語で具体的に述べる。(A-7-2)-①, ④, ⑤ 3) 課題の準備をする。(A-2-1)-①②③
10月11日	横山 知美	ユニット2: Chest Pain	1) 痛みに関連する言葉について, 英語で具体的に述べる。(A-7-2)-①, ②, ③ 2) 心・血管系に関する言葉について, 列挙する。(A-7-2)-①, ④, ⑤ 3) 課題の準備をする。(A-2-1)-①②③
10月18日	横山 知美	ユニット3: Chatting with a Patient	1) 疾患について表す言葉について, 英語で列挙する。(A-7-2)-①, ②, ③ 2) 病院内での会話について, 英語で具体的に述べる。(A-7-2)-①, ④, ⑤ 3) 課題の準備をする。(A-2-1)-①②③
10月25日	横山 知美	ユニット4: Cough	1) 英文を読んで, 内容について記述する。(A-7-2)-①, ②, ③ 2) 呼吸器系に関する言葉について, 英語で列挙する。(A-7-2)-①, ④, ⑤ 3) 課題の準備をする。(A-2-1)-①②③

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11月1日	横山 知美	ユニット5：Taking a Medical History	1) 病歴聴取に関連する言葉について、英語で列挙する。(A-7-2)-①, ②, ③) 2) 病院内での会話について、英語で具体的に述べる。(A-7-2)-①, ④, ⑤) 3) 課題の準備をする。(A-2-1)-①②③)
11月8日	横山 知美	ユニット6：Abdominal Pain①	1) 専門用語について、英語で具体的に述べる。(A-7-2)-①, ②, ③) 2) 消化器系に関する言葉について、英語で列挙する。(A-7-2)-①, ④, ⑤) 3) 課題の準備をする。(A-2-1)-①②③)
11月15日	横山 知美	ユニット6：Abdominal Pain②	1) 専門用語について、英語で具体的に述べる。(A-7-2)-①, ②, ③) 2) 消化器系に関する言葉について、英語で列挙する。(A-7-2)-①, ④, ⑤) 3) 課題の準備をする。(A-2-1)-①②③)
11月22日	三浦 大輔	ユニット8：Dysphagia GI	1) 学んだ言葉について、英語で説明する。(A-7-2)-①, ②, ③) 2) 誤嚥に関する言葉について、英語で列挙する。(E-2-1)-⑨) 3) 課題の準備をする。(A-2-1)-①②③)
12月29日	横山 知美	ユニット9：Hearing Loss	1) 聴力障害・難聴に関する言葉について、英語で列挙する。(A-7-2)-①, ②, ③) 2) 専門用語について、英語で具体的に述べる。(A-7-2)-①, ④, ⑤) 3) 課題の準備をする。(A-2-1)-①②③)
12月6日	横山 知美	ユニット11：Fracture	1) 外傷やその治療に関する言葉について、英語で列挙する。(A-7-2)-①, ②, ③) 2) 英文を読んで、内容について記述する。(A-7-2)-①) 3) 専門用語について、英語で具体的に述べる。(A-7-2)-①, ④, ⑤) 4) 課題の準備をする。(A-2-1)-①②③)
12月13日	横山 知美	ユニット12：Pregnancy	1) 生殖器系に関する言葉について、英語で列挙する。(A-7-2)-①, ②, ③) 2) 専門用語について、英語で具体的に述べる。(A-7-2)-①, ④, ⑤) 3) 学んだ知識について、応用する。(A-7-2)-①②③)
12月20日	横山 知美	ユニット7：Hospital Procedures	1) 手術や処置に関連する言葉について、英語で列挙する。(A-7-2)-①, ②, ③) 2) 病院内での会話について、英語で具体的に述べる。(A-7-2)-①, ④, ⑤) 3) 課題の準備をする。(A-2-1)-①②③)
1月10日	横山 知美	ユニット13：Review	1) 学んだ知識について、応用する。(A-7-2)-①②③) 2) まとめた内容について、発表する。(A-2-1)-①②③)

# 物理学（遠隔授業）

金曜日 13:10~14:40

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医療に必要な放射線診断や先進医療機器の原理と放射線の人体への影響を理解するために、電磁気学や原子核の構造・放射線の発生過程などの物理的知識を習得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
村田 浩他著	医歯系の物理学	第2版	東京教学社
	高等学校 物理基礎・物理 教科書・参考書		
西臺武弘	放射線医学物理学	第3版	文光堂

## 担当者一覧

小野裕明

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [50%]     論述試験 [50%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 金曜日 昼休み 12:10~13:10  
場所: Zoom

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
10月4日	小野 裕明	ユニット1: 電磁気1 電荷とクーロン力・電場と電気力線	1) 電気の性質を説明する。 2) 電荷に働く力とクーロンの法則を記述する。 3) 電場の概念を説明する。 4) 電場を電気力線で記述する。
10月11日	小野 裕明	ユニット2: 電磁気2 電位と導体内での電荷の移動	1) 電位の概念を理解する。 2) 電荷の移動と物質の電氣的性質を説明する。(B-1-1) 3) 導体内での静電誘導を説明する。 4) 導体の静電遮蔽の性質を説明する。
10月18日	小野 裕明	ユニット3: 電磁気3 電気容量と生体内での電気現象	1) コンデンサーの電気容量を記述する。 2) 圧電・焦電現象を説明する。(B-1-1) 3) 生体内での電気現象を説明する。(B-1-1) 4) AEDでの心肺蘇生を説明する。
10月25日	小野 裕明	ユニット4: 電磁気4 電流・電圧・抵抗の関係と電池の仕組み	1) 電流を電子の移動から説明する。 2) オームの法則を導き出す。 3) 様々な電池の仕組みを説明する。 4) ジュール熱と電力を記述する。
11月1日	小野 裕明	ユニット5: 電磁気5 磁気の性質と電流と磁気の相互作用	1) 磁気の性質を述べる。 2) 電流の磁気作用から磁場を説明する。 3) 電流と磁気の相互作用を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11月8日	小野 裕明	ユニット6：電磁気6 電磁誘導	1) 電磁誘導の現象を説明する。 2) 電磁誘導の応用利用を記述する。
11月15日	小野 裕明	ユニット7：電磁気7 交流電流と電磁波	1) 交流電流を説明する。 2) 交流発電の原理を説明する。 3) 電磁波の種類と波長の関係を記述する。 4) 光が電磁波の一種であることを説明する。(B-1-1)
11月22日	小野 裕明	ユニット8：放射線1 放射線と原子・原子核	1) 放射線の性質を説明する。 2) 放射線の種類を分類する。 3) 原子と原子核の構造と構成要素を記述する。(A-1-1-1) 4) 放射線と放射性同位体の関係を説明する。(A-1-1-1)
11月29日	小野 裕明	ユニット9：放射線2 X線の発生原理と物質との相互作用	1) 粒子加速の原理を説明する。(D-2-5-5) 2) X線の発生機構を説明する。D-2-5-4, 5, 9) 3) X線と物質との相互作用を説明する。(D-2-5-4, 5) 4) 放射線画像診断や治療の原理を説明する。(D-2-5-4, 5)
12月6日	小野 裕明	ユニット10：放射線3 原子核反応とエネルギー	1) 原子核の構造を説明する。(A-1-1-1) 2) 質量と結合エネルギーの関係を説明する。 3) 核分裂で生成されるエネルギーを計算する。 4) 原子炉内の核反応を説明する。
12月13日	小野 裕明	ユニット11：放射線4 磁気モーメントと核磁気共鳴	1) 電子，原子，原子核の磁気モーメントを分類する。(D-2-5-9) 2) 電子のスピンを説明する。 3) 磁気共鳴現象を説明する。(D-2-5-9) 4) 核磁気共鳴の医学利用を記述する。(D-2-5-9)
12月20日	小野 裕明	ユニット12：放射線5 放射線量の定量化と崩壊様式	1) 放射能や放射線量を定量的に表現する。(D-2-5-1) 2) 半減期から放射能を計算する。(D-2-5-1, 2) 3) 核崩壊の崩壊様式を記述する。
12月24日	小野 裕明	ユニット13：放射線6 放射線と核反応の医療応用	1) 放射線の人体への影響と防護について説明する。(D-2-5-2, 3) 2) X線画像診断装置や高度ながん治療装置の原理を説明する。(D-2-5-9) 3) 核医学検査の手法を分類する。(D-2-5-9) 4) CTとMRI, PETとSPECTの違いを説明する。(D-2-5-9)
1月10日	小野 裕明	ユニット14：総括	1) 演習問題を解く。



## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師になる学生として、豊かな人間性を育み、生きる力を身につけるために必要な食育の基本知識、技能、態度を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
中原市五郎	中原市五郎の「日本食養道」		日本歯科大学

## 担当者一覧

名生幸恵, 三橋扶佐子, 佐伯周子, 美原希美, 森谷順子, 中野智子, 山田裕之, 児玉実穂, 小林隆太郎, 上杉華子, 尾関麻衣子, 松野智宣

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [70%]     論述試験 [30%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 食育学講義終了後16:20~16:30

場所: 100周年記念館4階141講堂

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
10月4日	名生 幸恵	ユニット1: 本学と食育学の関わり	1) 「日本食養道」について説明する。 2) 食育の概念について説明する。 3) 食育の歴史を概説する。 4) 食育基本法を説明する。(C-4-2-3) 5) 食育の現状と今後の課題を述べる。(C-6-2-2)
10月11日	三橋扶佐子	ユニット2: 歯学生に対する食育支援	1) 食事バランスガイドについて説明する。(A-1-2-8) 2) 歯学生の理想的な食生活を説明する。(PR-05)
10月18日	佐伯 周子	ユニット3: 食育を理解するためにI (生理学)	1) 食に関わる人体の生理的機能を列記する。(A-3-1-7) 2) 食に関わる認知機能について述べる。(A-3-1-5-4)
10月25日	美原 希美	ユニット4: 食育を理解するためにII (生化学)	1) 栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能を説明する。(A-1-2-1~6) 2) 栄養素の消化・吸収の流れを説明する。(A-1-2-8) 3) 生体がエネルギーを獲得する過程を説明する。(A-1-2-8)
11月1日	森谷 順子	ユニット5: 栄養学I	1) 栄養と生活習慣病との関わりを説明する。(A-1-2-6) 2) 栄養食事指導に必要な知識を説明する。 3) 口腔疾患患者の栄養管理を説明する。(C-4-1-2) 4) 食事摂取基準と献立作成・調理, 病院食でのSDGsについて述べる。 5) 退院後の栄養管理を説明する。(IP-01) 6) 食物アレルギーを列記する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11月8日	中野 智子	ユニット6：栄養学Ⅱ	1) 食事と健康について説明する。(C-4-1-2) 2) 栄養素と食品について説明する。(A-1-2-6) 3) 発育と食育の関連について説明する。 4) 食生活の問題点について説明する。
11月15日	山田 裕之	ユニット7：歯科からの食育支援Ⅰ (乳幼児期, スペシャルニーズ)	1) 哺乳期の食育支援を述べる。(C-4-3-4) 2) 離乳期の食育支援を述べる。(C-4-3-4) 3) 幼児期の食育支援を述べる。(C-4-3-4) 4) 特別な配慮を必要とする人への食育支援を説明する。(C-4-3-4)
11月22日	児玉 実穂	ユニット8：歯科からの食育支援Ⅱ (妊娠期・授乳期)	1) 妊産婦の身体の変化と食支援を述べる。 2) 妊娠期の食育支援を述べる。(C-4-3-4) 3) 授乳期の食育支援を述べる。(C-4-3-4)
11月29日	佐伯 周子	ユニット9：歯科からの食育支援Ⅲ (学齢期以降)	1) 学齢期の食育支援を述べる。(C-4-3-4) 2) 学校歯科医と食育活動について説明する。 3) 小学校の味覚検査を例に、歯科からの食育支援と五感をはぐくむ食教育を具体的に述べる。(A-3-1-6-1)
12月6日	小林隆太郎	ユニット10：歯科からの食育支援Ⅳ (成人)	1) 現在の食糧事情を述べる。(C-4-1-2) 2) 生活習慣病予防, メタボリックシンドローム予防に向けた成人の食育支援を述べる。 3) ストレス予防のために食育支援を推論する。
12月13日	上杉 華子	ユニット11：歯科からの食育支援Ⅴ (高齢者①)	1) 8020運動と健康寿命を説明する。 2) 歯の喪失により生じる症状を説明する。(A-2-4-7) 3) 歯科補綴治療を説明する。 4) 歯科補綴治療による口腔機能の改善を説明する。
12月20日	尾関麻衣子	ユニット12：歯科からの食育支援Ⅵ (高齢者②)	1) 高齢者期における低栄養のリスクを説明する。 2) 高齢期の口腔機能維持と、オーラルフレイルや低栄養予防のための食育支援を述べる。(C-4-3-4) 3) 高齢期の摂食嚥下障害患者に対するQOL向上に貢献するための食育支援を述べる。(C-4-3-4)(IP-01)
12月24日	三橋扶佐子	ユニット13：食品衛生・安全	1) 我が国の食品衛生の概要を説明する。(C-4-2-4) 2) 我が国の食品安全確保について実例を紹介しながら述べる。(C-4-2-4) 3) 食品安全に関する知識・情報収集, 検索方法について説明する。(C-4-2-4) 4) 食育と食品安全との重要性を述べる。(C-4-2-4)
1月10日	松野 智宣	ユニット14：唾液と酸化ストレス	1) 唾液の役割を説明する。(A-3-3-6) 2) 酸化ストレスを説明する。(A-1-2-7) 3) 酸化ストレスと唾液分泌の関係をj知る。(A-3-3-7) 4) 抗酸化作用を説明する。 5) 抗酸化作用のある食品を述べる。

